# 海外新聞

洋学文庫
文庫8
C493
1

# 海外新聞紙

全

洋学文庫
文庫8
C 493
1

海外新聞

元治二丑年

三月十三日イギリス飛脚船出港ニ付りしを以て左の新聞ヲ得ヘリ

フランス事情

二月九日（日本正月廿二日ニあたれり）國王より評定所ニて政を說きしめられたるを有りと

聞けれ如し爰ニ國人皆いれを以て云ふ所ニて太子の政を說示せらるへく

と云ひ合り然るに其中にも大商人なそハ甚ハたしてこれをめて

彼ぶことを說示せらるへし元來當國ハ金銀の國ニ富饒なる工夫を

成ときハあまた出納の國船も來るとして實ニ重要なることハ無ふからん

然しながら其中一先中の海軍及ひ陸軍を減ずるとの議論を建白ニ

及びしと云風說あり若も其ことが事實しても右の如き改革が行ハるる

時ハ自然税を輕くならん左様なる倹約しなれハ實ニ衆の心望ニ應

ずるのなり○フランスニて右の如き改革を行て海陸の額兵の數を減

ぜしときハ能人民の心を得るとのなり○既ニ國王より命ありて其ニ

彼の軍艦ハ人員を減し國船となし平常ハ用ゆれど非常の為ニ

備るのみなり其他左ニ記する軍艦ハ其役を免し人を撤いて用

いず

大軍艦　ボートー及びインフレキスボロー　小軍艦　チヤスワ及びトビテトータウス

早稲田文庫

勝俣氏寄贈書

41-6848

中軍艦　ユラ井ニー及ビエレゴン　飛脚船ホ井ジャー及ビマレボート

通計ハ艘なり○當フランス全国の軍艦ハ大凡二千四百萬人の軍卒
ひ候よしなれハ右の法を改るハ重数多ハ減少して宜しきなるべしとの評定
所へ持出て評議せしに公邊にての用を以て国民を教誨する学問所を
新に創造するの議あり其法制ハフロイセンの学校よりも篤なり
○学校造営するについてハ先頃なる模様を以て[illegible]の事の実を吟味
ある為に大臣一役に役人壹命を受居り

ブレンスナポリヨン　位ニ備リノ國王ノ兄弟なるん　　リユークハーセゲ子ー　日本ニテ云ときハ三卿位ノ格式ノ者

マーシユルバリエント　所司事行　　エンルレーや　老中

米利堅より風聞ありてフランスよりメキシコ國を属国と致さんとするよし
と云風聞ありしかと定かならず是ハ虚説なるべし○去ル頃ある大なる鉄船（ふね）
是ハアメリカニテ近来工夫ある舟なり　其形なめらかしくイタリヤのフレゲツトーに似たるものにて船号
をオーレンと称しデーン国の旗をたて航海し来りホートーと云處に錨
を卸し在り暫らくありてイギリスの蒸気船大砲其外の軍器
兵士マドロスを乗のヨーレントーに騎びのりて之り後をおふし[illegible]
りかくて買とりしとのよし

プロ井セン國の部

プロ井セン国の人民租税の重きを苦しむと云説ありて右ニ付其国の評
定所にて重き取りの役人を調の事を始めたり然して其調への上にて其所役人の
あらた法を筆改むるなるべしとの事を承り及ぶと難し居りけり○評定所より
役人を招き呼び方ハ甚だ昨年デームの戦争にて何程の入用掛りしと云を
相問ひ教へさせけり　是ハ戦争するの時ニ海軍ヲ調し者なり　然れとも陸軍其の費ハ調べさせて
其陸軍ーを養ふ為に年々につき何程の費ありて求むると云衆
人の申入れを聞ふので○昨年十二月十四日プロ井センとオンデンボルクと僉り
条約を結びたり其評定所にて右の条約の議を決定せしよし
新に此条約を以てヨンデンボルク国の一と偶にをしたしめてプロ井センより
置くひとつ軍卒の出所にならんとありて是によりてプロ井センより
其代の價として五萬タ井ラ　タ井ラト云ハ洋銀七分三厘なり　を遣して○軍艦并
所より公邊にて預るをなしたり是ハ軍艦を造るために三千六百
万トロの金を商人より借用の由其の免許を取りし書あり

ロシヤ國の部

ヲロシヤのマスコート云城下にて諸大名會同なし萬々事をなすの讒なり

其中にて余程面白き論を出せし者あり然し此者ハ後の悪政
をハ未だ見ざるを知らざるなれハ其論法にて実事を行ふ
時ハ甚だ当を得ざれハなり然ルに此者の説ハ初めハ得るも
あり○太諸大名にて一決して評議ありて次に其面を図りなし
為り其書面此界ハ王より国中の重宝を呼出し其位の上に
く金銀の国中に能く融通つき上下とも迷惑の事なき様に法制
を極めんと請ひ願ひ出たり其者ハ今国中に金銀の融通悪しき
事ハ是なり○政府より法制を改革せんと云ふ事を言出し又国
政するものハ種々協議なし居るもあり其改法を云ふ者に応じき
び改法を用ゐやすき事なり若し而るにかかるときハ甚のアメリカ
国ノ共和政事の如く故らなん然りと思ふも其国民ハ多くハ頑冥
無智にして未だ古習の事情に通せざる故諸大名の如きも人相
の定まりなきものハなからんとする故に百姓町人よりして国事に関係ある
ものを撰び出さんハ難きことなりなん○国王の若公(わかぎみ)大なる怪我を被き
しとの事然るに今フランスの都より来りし者の状に其事を記せる
風説なるも余程軽からぬ怪我のよし故に儲君の怪我ハ如何なりて

なりしと云ふ或ル一人の兄弟誤て高楼より落たるを見て之を助け
其心高く揚りて却て自身の背骨を傷付けしと云ふ

オランダ国の都

菜 此節ハ売買甚だ衰微して価甚だ少しく下落せしと云
烟草 此節ハ十分良好の時なれバ大に高直にて売買盛なり
綿 此節ハアメリカ戦争の模様にて景気甚だ悪しくして此節を買入
事なり

イタリヤ国の都

二月三日(日本正月八日)の夜なれ方に国王の御車(くるま)トリエしより フローレンセンと
云ふ都に着しより街道にて国人喜悦して皆冠りを投りて之
を迎ゆる事甚し其常都とて揚げて貴都の形ちを成せし王も宗
の様して後楼上に出で却て喜悦を述し被りき○こハナーしより
来りし書状に後月廿(日本正月四日)の夜大に地震ありて其地震の
後にイタナー山より硫黄を吐き出し熱湯出来して其処に近き
村々人甚だ難義なりし○都を遷(うつ)す説てハイスパニヤより西班
牙を云しと風聞あれとも其国の政府異相より出でて言ひ

領分しまを異国にて都を遷して其國の人民の充ちある事あらく且又
食物それは満ちあれバ何事も私し方よりてハ是數ハ中々容易なりとて總れり

イスパニヤ國ノ部

イスパニヤの取掛南アメリカのピルウより領分しある物なとピルーンとイス
パニヤとの争論ハ多分ハ戦争に及ぶ様子なりと云ふ〇イスパニヤ并フレギ
ヤトー及ひヌマンセレと云船ラ始総数十艘をうかし是ハ戦争の為の用意に関なり之
係なく唯今此商人も地に在留ありて居るもの

ホルトガル国の部

ホルトアル政府にありて奇妙のりを遠ひより当年中代るべく修理
あらり〇レヴホレ都にてハ地代家屋等の税外に高くありて又肉の價
も之を割上りし〇此度ハ近年になき宜く住て諸品売買を未
まて休銭之し

イキリス国の部

薬 此節イキリス国中にて達ても政の方比昨年に比すれバ七拾分かた
鉄橋ス並んでも價ハ宜あらなし

糸 此糸ハ織工にて價を高く為れとの説もあり サタリー糸の上物にて

ニヤ行りてつき價六枚七分五厘位日本の前橋のものにても英國のきも
行りてつき七枚七厘位〇フランスニ在勤のミニストル正月廿日（日本去年十二月廿三日）にもて盛
踊戯を為し各國ノ雅公及び其中の衆人招待して盛
禍を盛んなりき

アメリカ国ノ部

正月十五日（日本去年十二月十八日）北軍タレー并四隊の陸軍及び海軍を指揮
なしウフレメントの南あるフヒヒルと云砲臺を攻て奪取せり此戦争
の有様ハ午後三時（日本八ツ半ニ當ル）軍艦よりボムを烈しく放ち掛け夜
半十時（日本四ツ時）まで止まざりしが遂ニ取れり〇北アメリカの陸軍ハ手
負死人九八百人許り并ニ海軍九百人計り南アメリカにてハ死傷
のもの五百人生捕にせられし者八百人あり〇南アメリカにて此戦争ニ依て
ウレメント近くのキヤスウ井ル及びケンボルと云ふ臺場を敵に取られ
されとも自ら砲推したり且ケンボルの兵卒ハ退きすてたれり
〇ホートローヤルの告ぐるに本月十四日ニ南北戦争ありて北方にて
ボカタレゴールと云ふる橋を奪ひ大筒十二門を分捕あり南方にてハ
衆を稿きれてチヤレストンの方へ逃げあり此戦争にてハ北方ノ死傷ハ僅ニ

なし○チャストン港にてタペスコーと云鉄船突撃せし処へ敵の為
ミトルヘドヲス（若火ノ如クシテ自ラ波動スル者）を以て摧かれ水卒五十人計り沈没せ
り 中等軍艦セントオウセント名づけし舟バビマースにて満清の艦に破船
せり（此舟ハコハルリス始テ日本エ来りし時ニ用ゆ）○北方海軍方の評議にて水師提督ゴールスベレーを
して一隊の艦を率しめヨーロッパ之為に尋常模様二丈五尺アメ
リカのフレシール海或ハ天竺支那ホト茂軍艦を壊きなく数る也
○大頭領リンコリンあり之のイキリス公使のカナタを以来条約を取
めるてこれを決めたり○正月廿三日（日本去年十二月ニあたる）より廿七日（日本正月元日あたる）の間全
手傷を負遁走へし

死殺者　百九十七枚（但しトロ手死殺者）　日　百十九枚　日

同　貳百十九枚　日

右百般の手傷あり○正月廿七日に至戦し志らせあるにレジメント（是ハ南北方の王の居所）
より鉄船三艘大砲船五艘都合八艘にてセヰミス川を下れり
是迄ハ北方しフロテラ（是ハ海軍にて川或水の浅き処ニ用る舟なり）を襲ひ将軍グレン
トが米合を奪ハんとて至極く業を恐れたり然せ其業ハ成就
せすして一とたく右八艘の内漸く一艘此フワテラを通り過ぎし

其外二艘ハ溺清に乗り上げたり其二艘ハリツナヌンと引両ホさ
其一艘ハ捨て去れり是ハ敵手に近くして旗艦さらる故走屑
ふされ故なり○ニテ第七手の軍勢をセレモンにて本陣してヰ軍
シヤリモンの方へ発せしと云ふなり○近来アメリカニテ新発明の鐵戟（てつぼこ）
を製したり是ハ鉄の極く堅物にて製其者を入子八百枚を重
畳（さね）して凡く一寸の厚さ至て密事を甚だ滑（なめらか）りて強く堅牢し

右の如く各国の新ら造を日本比に致す事に限し出火頻卒ハ
各国の際に至り断るも知己里物の便のお陽ぎ出来ぬ無く
知見ハ空気の為に兵利ある者思ひしあるま莫逆乃気郷
兵ハ一月とニ度づつハ時限を乗する其の有れハ便ある改あるま

元治二乙丑年二月廿八日英國の新聞紙に出たる所に依て左の新聞を訳したり

イギリス國の部

二月廿〇日（此月西洋四月六日）上の評定所（評定所ニ上中下とありて上の評定所ハ諸大名会合して評議する所なり）ニ於て諸大名集會して評議に及びし時或一人ニ云ふ曰我国の領なるキヤナダー（北アメリカにある國なり）を捨へし近來英國にして是を請り雨ぞ欲しがる事なる国ニ右之國とハ互ニ恨を懐くべし夫もあるかのハ甚だ衆の危きなるも余らくハ此事ハ出来せ無しあかたるハ決して危きなきとも云ふ無かりしが其故ハ此節ニとありてハ合衆國にてハ兵器ニを悉く備して有ハあり右ニよりてハキヤナダーにても是非とも兵器を備なくてハ叶ハざれバ此事ニ至りては出来致候様にて致さバ空しからん又一人ニ曰其れて実ニ無り是ハ最も一大事件あり其防禦ニ策ハ二ケ条あり第一ハ其事物を送り第二ニハ新ニ陸軍を調へ軍兵を備ふありし時ハ政府ニて金を積りしか既ニ十万ドロの金ハ悉く其の用ニ充る積りニ致し居れりマンヅレーアル之の方ハキヤナダーの政府ニて出来るて積りし又一人曰キヤナダーに兵を置き多く軍備も整ひて夫々国を肩を並べ經の勢ひなからん又一人曰唯今言る事とも後々の事なり我国ニ於ても左ニ憶へり無し然らばキヤナダーニ此八万弗一献度なり改定なるまじきならん其防ぐべく

其一用ハ八万弗ドロと云フ又ニ有り其内

其頃までは今政府にてキヤナダー軍備の為に用ゆる評定所へ申出て
年時到らは擾んとするに近し然しあるへ年の数を掛るものも月の数
を掛るゆへ僅しで速にめるときハ無しうへん右とかく双方もキヤナダイえ
自らかりて取りて右等のことを取ひ合ふ事をも形文證を差出し
其後をハ左の如くなりん○評定所にて或は大屋にて政府にてハキヤナダー
を忘れなかく一向に構ふなく捨て置れしと云ふに付時勢軍士ロスルと云ふ人ありて
千言ひて兼ねてを致さし千八百五十年以前も下の評定所よりキヤナダー軍
備の為に金子の用あると申出れども兼て如来よりあらん然るに右様ことを申出しても
かく其又キヤナダーにても自ら政府に於て國の為なれは我々力を出すも
なれど政府よりも何事を諸職して取かゝると申出てしからとする右様の上ハ少く
申事なき故に政府にても今ら平作と集し兼りしとの事○下の評定所（町々にて役人の）
（評議）にてへ探おこ評議をあらりし○ブルシ井ル国とハ争論ありて交を絶ち
しかども其時ハ自立擾あれハ我方ハ武應接にて少しも懸く後
ひ交を結ひ親しく致したり○元来アメリカ国との条約にキヤナダーの湖
にて軍船を置ることなしとの条約を結びたり然るに此度はアメ
リカより操るとかいふの書面にて条約を用捨ありて数多くの軍船を置

かんとあれとも申来れり是を以て我方にては疑念を起し多分ハアメリカにて
てキヤナダーを攻取らんと云計策ならんと疑ひしに今般と申乱に右様の右
然れハ右様のことにて疑念於て解けたり右衣ハ夫の國の賊徒キヤナダーに
のまて党を集め其処より旗を揚んとせしよりて賊徒防禦のための軍
艦を差出すを致せるなり右も暫くの間とし○後月政府にて諸への
金高を録して扣へ置きしこと数左のとし　二億八千万ドロ是ハ運
上にてなりし金高内千三百四千五万九千七十四ドロにて諸の扱雑する
（陸軍にも古着を売り或ハ所々にて用ひし陸軍諸金に到り）
まてへりし　八百十ヶ五十万
三千六百十六パウン（但し一八ウンハドロ四枚ぶりの陸軍を一表を記）是ハ諸の用なり千九割付先のとし
二千六百三千七万七千七百三十二八ウン是ハ陸軍の入用之　千百二十万八千
二百五千三八ウン是ハ海軍の入用之　九百二十六万九千五百十一八ウン是ハ雑
の用之　九十七万の九千三百五千七八ウン是ハ商人并武官の入用　四百五
十五万九千六百七十八八ウン是ハ係数物諸よりの取り集めしの用之
十七万四千六百八ウン是をシヤリヤのトール入用之右しめて入用を見引し
残りの金数ハ　二百九十六万一千九百七千ハウン此御手元の用ありて也
金数ハ七千二万ハウンえ是を運上して中へ出さしてアニウエテの

[illegible]を以て之を　故にアニウエテーと云ふ一度ハ人ありて政府に出すを停止し
其ハ政府より初めを廣くす人一生涯の中　一度も筆を定め[illegible]
[illegible]

一 菜　菜を其の新聞に記せしと変りなし　然し[illegible]ハ[illegible]日本の菓
の菜も[illegible]ありし○生糸　生糸も其の新聞と変りなしと[illegible]
[illegible]ニーポール云舟に於て湿れる[illegible]の糸入れありしが[illegible]見込あり　當月廿二日[illegible]日本出張の
[illegible]○綿　生糸ハ一般の用ゆる[illegible]を減し[illegible]郷と日本の糸を[illegible]
[illegible]より[illegible]　白縮　但し日本出来　生糸ハ一般の
[illegible]して[illegible]○　油も[illegible]
○ロンドンのセントアヂと云[illegible]て傳のエルデルデーと云ふ人、媒とありてサミヲ
ルヲバトンと云男とアナスクラムスレンと云女と婚礼ありし然るに[illegible]
瘂あり　[illegible]瘂ハ[illegible]文字の形を[illegible]　依て[illegible]ありて[illegible]文
字の形を[illegible]して詞を通し婚礼の[illegible]を勤めり[illegible]
れハ[illegible]人大て[illegible]○東アメリカ國のライレンと云軍艦
[illegible]フランス國[illegible]帆[illegible]
[illegible]コロナーと云港に[illegible]或人[illegible]を見[illegible]て[illegible]

[illegible]舟の[illegible]の鉄の[illegible]ハ四寸あり[illegible]の造り方あり大砲を四挺備へ
[illegible]を何れも[illegible]ポンドなり[illegible]ハ一挺に[illegible]し　水夫ハ[illegible]の人ハて
と云舟の水夫を多く乗り[illegible]

アメリカ國の部

[illegible]の新聞に[illegible]南部より北部へ使節[illegible]を遣りて[illegible]に及び[illegible]とあり又此節
も南部より使節[illegible]人を遣わり[illegible]て北部よりハ大統領[illegible]
[illegible]とフラトソレンマンローと云砲臺へ近道を[illegible]して右使節と[illegible]に及
び[illegible]の[illegible]を南北共に評定[illegible]に[illegible]八つ[illegible]
[illegible]○北部大統領の評定所[illegible]書面の大意ハ左の如し○當月二日
[illegible]南部[illegible]ステーブン　ハンタル　ケンボル右之三人[illegible]船に乗り
迎ひ[illegible]と[illegible]に及び[illegible]人[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

法制を拵へ人を敗る患ありと雖とも両極のものとなさんと云ふことを以て尤も宜しく限り極め
而して両種の器を延さんと欲すると見ゆ右の如く南軍ハ此初の政権を安く
然して終に此の政権を大変に発らしめ去る子告ものゝ二月十日大統領より
○南部大統領より全権の者を遣ハしてありと北部大統領と政権の変を
以て全て平和の評定に出るにて相成りたる全権使節二人を此
部にさし大統領と政権の事に及び一手紙ハ彼国大統領より出る由を以て和睦之我北部
より表向きにして使人を彼の方へ遣ハし…ハ別して国家に臨まる事を評議
をなさんとてしまはりて之を右使節政権を以て以て…北部にて…
獄の和をなさんとす合衆国南部をさして昇華のあく彼の南部政府の主郡を要して両部
…政事ハ和睦をなさんとすると之…
○南使節の…北部の…彼の大統領より出る評
…言へる之彼の…せハ和睦をなさんと…し…至りて
宜しく昨年…して…を改て…を
○大統領又云ふ…表向き使節の政権ハ我国にて彼の…と…し…
…ハ…と…て…のハ…ありて表向の…を…
…全く我政府の…と…ハ…り○…を…を…て

(南方兵士)南面の勝利しなれども後ハ敵ぞと云ひ北部是を常に彼の云ふ所を守る
まあらざれバ北部を如来さんとも勝ちさうとあり○小敵の云ふ事に従ひハ国法
を立てある甚だものも来らん然るに北部にても元と国の為と云て政事を
なれバ許容すれども来らん○南部と北部と和睦すれば両者を政め
んと云ふことなし其の和を申しまして…し○レヂメント(東アメリカの称)のエキスアマナーと云
新聞に右和睦をば北部にて他国と戦ふことを成さんとす和を敢て好むが故に悉く内治
を治めんとすれバ他の他国をたすけフランス或ひハイギリス国と戦ふに及ばんや○小
敵の将グラントーと云者より出面をもって北軍の軍卒を率
ひて南部に戦ひしまりヤムスステーシユンと云所にて敵(南部の将兵)隊を討しぞも出で合
ひ其の地にて戦ひて大いに勝利を得たり又其の事をも伝へしてプロトンプランケー
と云所にて…タブテネルと云所にて…し陣営を打破り敵を殲殺し又
其の後にありて敵から我軍に押寄せ城を…めて戦ひ
しと見え…程厳敷攻撃して我軍の…を打破りて…の城を日載に
て…の…を…り然るに南部の…
の兵卒チヤロン川を…
敵に…力を…て…力…し敵に勝利を得たり

スアムトロンハウスと云ふる敵より寄り来りしを新時戦にて悉く追ひ捕
ひたり○南の水軍ハ井と云ふもの南部を以て合国に加はりし十一月二日ペグ
ラント(人名)ニ寄りて軍艦を奪ひ始め戦ひ川筋の(南より東アメリカの川なり)大将を捕へ
(地の)都を見切り東軍の船と番戦ひし大将ペクラン打死なし副将カルバ
フマレト是も負傷をなしたり大将死したる故に将軍の階位ある者氏
戦ひ難く出て時を移さず逃るを得の体営を引き取る○テーヲルロと
云ふ将軍ハ諸方を逃し南部ニ於テハ陸軍の勢ひ方変革の後に戦ひ
流れとなり手メン及びチヤリストン(何れも地名)なりとも引き揚げて再度
勇気を引き戻す事あり○南部拝宮所ニ於て武役人と始めて其の
ーフを(此スレーフと云ふハ黒人の奴隷にて奴婢となす事なり)政府にて用ひたり将軍の配下の者
とのうちふさがりたる其の所と利あらん○アヤレキユレアスガー(但し此所に其の新たる戦ひあり)
つ及ゼーミ大川(南アメリカの川)にて戦を始めんと其レンと云ふ者陣の近くに陣し
千の軍を以て防ぎ○小数の水軍キユラントーより船にて南部へ
大将と約して其の後に生捕りする者をなす百数人を害せし
(人を定め兵数より其の人を殺し死ぬるとなる事数をも知らざるを皆人の其の方へ)

フランス國の部

此年より支那と密約の所を定め清水を築き港を建てし龍井と東京
の者く其の事に付き談判となり其の所をフランス國の地と為て程
なく其の中の所に於て(仏国の人支那の)集まりしかん○西方より帝となりて其八百
六千七年(但し今年八百八十四年まで凡そ十七年なり)の五月朔より八リス(都の名)にて其集中の諸
物を諸人に見物なさしめんとて各国の吏を取り集めて万の役人を帝と定め
○パリスより帰りし書面に拠れば今の事を陸軍を率ひ其法を
定めくらし手段て軍事の兵を唯兵との取り勢となして守ニ八千隊を配
して其れを職業に就かしめ二十四萬人と兵を置くとの政府にて其
勢と云ふハ政府にて兵卒の者と至八十萬人と宮中にも要くの勢なり
に有し給金ハ年に二ヶ月分を与ふ其二ヶ月と云ふて補給をなす
職の数十四萬人を以てパリス及ラエル(此の者ハ兵を其の金と云ふなり)千余の兵の衛営の所に
を統べ其れ勢を出して其所を諸方の港に置く

プロサス國の部

其国の方より詳細の所は皆とて兵の事極めて手段を取りも
たる戦争を規則と其人を救ふ兵を規則と云ふて陸軍の兵を備ふべし
姓名の数も多し此の数を以て陸戦をなし又其の営所の程の事報す

或ハ其掛りの役人の給料を増し又ハ旗のモデアッホイト（蒸気船一人の乗組を云）を停止なし且家
事をも減少し然して其外（是まて陸軍より取扱ひ来りし者を云）の給金を増すそうなりん〇イギリス
國のコンシエル「ボルリンと云者ハ存る所を当国と定め条約を結ふへし
ヲロシヤ国の部
都下の新聞にてハヤカンドーと云者の事に就て浪士のあまたの多く出来と云ふ
浪士新聞を出しぞ
ヲランダ国の部
二月廿四日（日本正月廿七日）の新聞にてハ或一人の長中多偏のをしりして其云ハ正役老人出
〇タカチコランターと云新聞に当国の國王大病にありと云りしとも実ハ無事（理なし）
を知らぞ〇今年八月四日（日本六月廿三日）其男子の国王の画を集め見物する事をなし〇
國王の誕生日にメドサーと云軍艦に緒の旗を飾り並にメトランクルーソー及びバジヤンビー
とアムシトダムと云軍艦にも画例の旗を飾らし右之軍艦を日本ヘ開きて戦
争ありしつ舟あり メドサーと云者ハ其最初にち砲を打出し小くる者もて
時計に清らかしよりて其西に稲妻を見る〇薬 其外を不景気にして其上方に
悪し〇錦 其外に價引下げ其品あまりしなし事と思ふよ得ぞ
トルコ国の部

元治二乙丑年四月十二日イギリス国の飛脚船此港へ来りしに依て左の新聞を得たり
アメリカ國之部
二月十七日（日本正月廿二日）の新聞に少数の将軍シヤリマンと云人コロンビヤ（地名）のを攻取りし日夜チヤリ
ストン（地名）の軍卒も防ぎ兼ぞ引揚たり依て又其地の奪取り大に兵器糧食を得たり
其内に大砲二百挺有りしが火付て残しぞ釘をさし込て其用をなさぬ様に為し
置たり其外玉薬及び大砲の附属之器若干有りし〇南之兵の引揚る時ハ或ハ綿蔵
綿棉并ニ舎料（蒸気車往還之橋之或ハ鉄船（但し二艘其他造船場に在るものの）或一艘之舟ナソー（ヲラ
ンス国の港の名）より来り泊るを此港に入りし舟）の舟まで自ら焼捨て立去りし（此事ハ我の心を以て敵之者の手に渡すを成さず為なり）
有り不数に之を奪取りたり〇南之チヤリストン（地名）の陸を入りし舟（少数にて且つチヤリストンを出て舟止まりし者共の事を云）
評定所之諸役人を此処に集め合へり〇陸軍の将より命ありて國中
陸軍の陣営或ハ砲台其外諸役人の諸事まで兵砲火薬を数せり是ハ不数の國預
びサンピールの砲台に運び是を得て之に依て二（是まで扱ひチヤリストンの辺を其首元と不数の者あり）
是非くして防禦し兼る〇将軍シーヨルと云人より命ありて七月廿七（日本正月廿七日）日をワシ
ントンの誕生日に因りて依てワシントン中に在る所の役所ハ皆休みて祭る事を点
して チヤリストンの事を祝ひし〇ニユーヨルクのヘルドールと云新聞に載す

するレチメント師の二軍勢もチヤリストン地ニ在る軍勢を引纏て必ずなさん曾て南方の重役
の人より写し来るレチメントを引揚るとすることは必ず以前より決定せし所なり依て今
北方より製鉄所の器械を以て北方へ引取りたり○惣じて南方大将軍リ井ーなる
ものハレンケホークと云所より引退く様子なり然るに軍卒を揃へて巡警をなし居る是ち
全く北軍の屢城を窺ておちゐる事を掛り一戦あらんと欲するなるべし○評定所にて陸軍の
給金と手当の入用金の高を定む 但し一年分 此金五千八百万ドルラルなり○上の評定所にて
陸軍の給金を増んと云議論ありしにオリシンと云人云る一千三千八百万トルレルの金を
貝て都陸軍より借りて放置居たり○下の評定所の議論ニ因りて商売する
ものから税のとり方模様替をなすべしと云論を出せしが全く模様替をなさずして決
りたり○石炭油の税ハ甚しく増して一ギヤランにつき [illegible] 但し二升五合位 六分の税なり○
ダ井モン キヤンシンを加ルものゝ イマレドー 是ハ石を以て物の傳ニ用ゆ 及び此二品の類の物共税を高くなさし作就此外之品
ユニ重物 但し人々の着用する緑の類之ものゝ二 を税を軽くなし出来てるなし○ビヤ 酒の名なり の税を二重くなしを傳
止さし○大統領レンコロンより評定所ニ書翰を遣し令くなしあり厳格命あり重なる者ハ弟なり二月
四日ニ評定所諸ニ書翰令なし然して所々提案し面々を出でる若く
遠歩なし評議及び時なとなり○ [illegible] 軍艦ニリミキと名づくる [illegible] 取沈
没なり 但しニハ二州の [illegible] 然れども [illegible] 軍卒あるを巡警し [illegible] 軍艦程ハ

リスミ此舟出の事を あし居りける舟あり また捜索ける所ニ他国の船ニ白旗を掲て南部の海に来りゐて救ひけり
○サバナ市 アメリカの南方の市 の綿舟共皆ニユーヨルクニ着しける綿の数ハ一万二千箇なり○
サンフランシスコより出帆せんとする船ハ目出ひの金米船をあらんを 評定所ニ許あるべし是を
先許あらず

オランダ国之部

三月八日太后第七十才にて崩ぜられし 是まで国中ニ而も憤く居りける
病気ありてアスアールと云病にて柳中后プリンスウオラン 殿ハ先代の国王 の入甦あらし ハ千八百十
六年の二月比てありし手紙ナおレヲレ此后を撰んと請しが是ハ [illegible]
[illegible] 帝月十七日ニ葬送之儀式を執り行ハ候なる○
評定所の重役協議して梅を [illegible] 国王の接接ことありしき是ハ病気の [illegible] にて有
りし故也○葉 入れ場ニ於て出来しカングーと云葉を三百六千九箇と二百九十五箇
ニ二日の札ニ附して [illegible] 便ニ下りけり○烟草ジヤバ出来を
[illegible] 便ニ上りて [illegible] よし○綿 出来ハ壹貫
[illegible] 然とも 便あしく上りける [illegible] イギリス国之レパホール地ニ於て綿を
[illegible] 便を唱ひ居りたる [illegible]

フランス国之部

三月九日（此節二月十七日ナリ）プロヰスの武州ヲ此國ニ帝王自筆の書面をコンシユルに命してサヤム國（此國の内にシヤム一ケ國あり）の國王ニ贈りし始末を左にのぶ其記せり政府に書面を金の花入ニ入れ其
き様ぎり来ヶ絶と云も（國の中二入っサヤムより来ケ［illegible］）の中二入てサヤムより来ケ［illegible］の結構を尽して贈り立ヶ迎舟
ニ載せ［illegible］四千艘の［illegible］舟に［illegible］て國に越きケ既に［illegible］着して［illegible］大一
発の砲を放ち並て［illegible］書面を［illegible］て［illegible］ヶ［illegible］與に入る千人［illegible］
歩兵［illegible］あし［illegible］を［illegible］して［illegible］入［illegible］して［illegible］王の［illegible］人
に其他諸役人［illegible］國王［illegible］てコンシユルより書面を受取［illegible］王の［illegible］
東［illegible］○［illegible］此國ニ於て陸軍［illegible］の［illegible］と云を［illegible］
ニ載せし［illegible］ハ［illegible］メキシコより［illegible］書面に［illegible］て［illegible］あらず［illegible］
［illegible］マーシロバセサン（是ハ佛國の役人ニて［illegible］メキシコニ在り）と云役人より書面を［illegible］
今メキシコ［illegible］に軍［illegible］を引［illegible］此［illegible］此國の［illegible］金銀を［illegible］し且［illegible］
しくもの［illegible］人［illegible］を［illegible］て［illegible］［illegible］と［illegible］ありて［illegible］
［illegible］兵端を開くをおそれ○此［illegible］ヘンズタ〃レズと云［illegible］て［illegible］を結ひたり
右ハ六月一日（此節五月廿四日）より始ると云風説あり

シラス井ギホレスタン國の義（此國ハ昨年プロヰス及ヒオーストレーの［illegible］）

プロヰス國より書面を以て此國に［illegible］より［illegible］のか［illegible］第一ニプロヰス國ニて
着し［illegible］至入用あ［illegible］ハ此國より［illegible］を［illegible］し［illegible］用を［illegible］第二ニプロヰス［illegible］入用
［illegible］の地と［illegible］て右の用の地と［illegible］ハキヨラー（是ハ大［illegible］を［illegible］て［illegible］國の［illegible］と云）を［illegible］て［illegible］
メシ海とハルテキ海と水脈をつなぎ並してキヨラー［illegible］の入口に大［illegible］を築
きドツク［illegible］を［illegible］りプロヰス國軍艦の［illegible］第三ニ此國のテレガラフ［illegible］
施［illegible］プロヰスにて支配を［illegible］此國陸軍の役人とプロヰス陸軍の役人と［illegible］
［illegible］右四ヶ条○フランス國ハリスの［illegible］プロヰスにて右［illegible］
［illegible］をハオーストレーの方にて八［illegible］○プロヰスにてフランスの意を用［illegible］
あり○デ［illegible］ニスの北面のシラスホ井キ［illegible］テマーケに［illegible］の［illegible］のシラスホ井キホレスタンド
ルーデン［illegible］プロヰスにてデヌマーケと［illegible］の［illegible］して［illegible］支配を［illegible］○アスト
レーを右［illegible］加［illegible］

ス井デン國の義

國王よりフレンス（此者ハ［illegible］）ニ井ラス（［illegible］）［illegible］ナポレヲン（フランス國王）［illegible］
しまちに八九月［illegible］陸軍の大［illegible］あり［illegible］○テマ
ーク國王の［illegible］りて［illegible］

オロシヤ國の義

三月一日（此節二月十七日）［illegible］中のアジヤの［illegible］と［illegible］方と水海のヤスコルと［illegible］ハ此國の

十四

領分を取られたる事なく新に地名を附してオロシヤトルコスタンと呼ぶ○ヨーロッパ西の部の
新なるフランス國のところ実代なし新規に人来りしより此國をフランス國と唱
驚愕なる地の事を取りしと云ふ然るに此の事を見るに手荒なるフランスブホールスに
前の政府○去年冬より正月廿日まで寒気強かりしは稀なることにてホニウ八近
年になき寒さにて二月初めに寒暖計を飛氷點より十四度下りて屋外にて皆凍死の
風氣多く吹きて雪と寒さの寒けを長き間止めずして僅にナフスと云ふ事なき夫より此の
処より寒き様をなしたり○四月と其の比アフリカ州にヘーニと云ふ人水の上を走る船を作りて
ありて其を商売しれば諸人見に及ぶ國王も召出して見物ありしより此の西面なる國の
しとの○國中にては卸賣して かくの如く其の速さを賞せしとなん八雪及び氷の
上にて諸州にも此業を好みて数多の直に大なる上ノ人民共に用ひし兵器を作り年々業
なきこともなし

## アストリヤ國の部

政府にては蘭と新にして其国東の西地方北と条約を結び両族を定めて寛となさんとて
大なるフレゲット一艘を借りてける

## イタリヤ國の部

ネーフルスと云ふ地方の新年二月十五六日頃霰降る程にて其の山を見るに白き色に変りて

時と時に吹き起し霰来るべき八諸方見るなり○去年新寒の頃にイタナー山八木の上に硫黄
を吹き起りて夫より見る人誰も之を思ひしにも恐怖の様子にて其の処は近づく時
ものを焼きて皆火雪の中に吹き出して硫黄の熱場に一里余二里も隔てて振り出
る地なるものも焼くる如くにて林の木も田畑なども悉く荒地となりて後々にても百年
も歴ざれば穀物の植つけの地となるも能はず右を損失八十五万余に至り又一万五千
余の時を忘るべき程の損失有様なり

## スペーン國の部

但しこの事はスペイン國より東方なる國のイスパニヤなり

三月二日マーシロナーベーズと云ふより諸宮所にビルーの時東方國と闘諭しを治めて条結を結びし
に而して左様の事に就き工キゲーと云ふ新字を取立て軍艦を打ちバレシヤーと云ふ人を捉へてビルー
國に立帰りて是を以てビルーと条約を全く守ると云ふ事のみなるを見て八万取らんとす○
サニタードーと云ふ処のリノーセーと云ふ町にて蒸気車の道を造りて凡そ二百人余りの職人仕事
をし居たりし處職人を雇ふ事全く扱方悪しきとて其の職人共二百人余り其の所を打捨
去るもの有之に就て其の数千人と共に其の地を去り出て

## イギリス國の部

三月十日の事なりし女帝馬車に騎りて遊びに出で森の道を通りしに路傍より悪しく
路の傍より大きな大木を彼の方へ倒したりしが女帝之を遁れて

しかるに年來多くの事を註色して諸吏の大本六七年にもなる例（なしとなり）故に不富の難
を免れん ○軍艦新製なり全く鉄張にして内車と云蒸気船なれども商人に
施したり此船は卯辰の頃より軍事を載せて往来する為のものにて舟の長さ凡三百尺
其幅四十五尺深さ廿二尺四寸積荷の噸（但し一トンは凡そ千七百斤位）数は四千百七十三トン蒸気の
力七百噸なり然してすゝみに於て積むもの八四千二百トンもあらん（強ミ蒸気の力を云ふ又ハ馬力を以て云ふことのあり能く之ヲ四千トンを動かす）
（其八個の蒸気にて此トン数を動かす程の力ある事を云ふなり）舟足一時（日本の半時）にうつき十五里（英国一里ハ日本十四丁位十三間之）舟内の広
きを水面を隔てて千弐百人を乗せらるゝ此舟は動揺なくしても人の體に障らぬ程なり
に多く居らるゝ程なるに ○今月二十三日ハヲロシヤの國王位につかれし日なるに
よって此所にある英国ミニストル等も参賀をなしたり（西洋にては日本と同じく此日を祝し王の幸福を祈るなり）
参列立並び諸役人下として参る故に礼服を着すべし 其後又戻りてミニストルと其
のパロナスブロナラと云人は重役の人にて参賀席に座せし ○是近頃に来りし鉄砲と異人
ある火薬をかけて発明なしたる新薬をタ子キ ギヤレツキーアセツト
（是余の薬の名なり）キロラ井テー（是は水に溶かしたる如き薬なり）此二品を交せ合せたるときは寔に火薬と為る此
火薬を常の火薬と異り緑カの強き事も強くして且つ用ゆる事も手軽なり
一ツ為す事能はず生野へ至りても右二品を分ち置時は火の憂ひもなし入用の
時に二品を合せて用る故に火薬を減ずる事にて是に云ふ効能も又一ツ有ると也 実に

古今の良火薬なり是ハエンフヒールラ井フル及ひアームストロング大砲にて用ひて最も宜しかるべし
○或る大なる商船マンフレドウ号（船名）去年九月此所にて上海を志さし出帆なせしに香港
久しく着仕様子なき故扨は破船なきしと思ひ舟主より紅毛人の家内へは大なる愁
傷なりし處去る頃無事にて今般此所へ帰り来りて此事を聞き家内の者大いに悦び
しなり今迄無事傷なりし者ハ死したる人の再び蘇生せしと思ひ大いに喜べり合
至○此度アメリカ国と此国との通行便利の為海底にテレガラフを入置かんとて海の深浅
を測量なしたり其の云事に依て海の深さも山の高さ程有ると云しが今其所実測を以て
見しに今日迄に見たる一万深さは凡そ八二万五千五百人（日本三十六丁一里にして凡二里計り也 一万四千五百丈程なれば凡そ二倍なり）富士山ハ
○女帝にて與（但し女帝ありて此事を加へてその）凡九百年来て古き物にて先代ジヨージと云し帝の皓下（ハカノリカコ）にて
ましくその又手便に弟七千パウン（但しパウンは洋銀凡枚之）掛りしとぞ○唐国キヤナダー（ちかの国之）にても
是までの通りイギリスの属国と成り居たれども今般望まれて独立なさんとて云ふ事を
評定所にて入札あるべし（是ハ元よりイギリスの方にてキヤナダーの事を取扱ひ来りしを今般改むるなり）整りしと云ふ属国を離る
方に於ては云ふんと云ふ事に依て居る事を女帝にも申さんと云ふ風なり○昨年
より事取り来り居りしミニストル替りての所を請て此国を隔りて又蘇取事取り行はんと
をして此台所属国立属のミニストル病氣なるによつて此ミニストル事取りを罷免せらるべし
一等高き位をもつて台所属の交代に可らず定むべし○日本に来りしアールコツク閣

收玉ありしは皇帝にも支那にミニストル此度あき居りしに此人支那に引帰りん○此国の支
那居りしに金利五厘程下げし（支那帝より金の出方少くなりしより之）○英吉利ハ不景気にして石炭不足
支那ハ支那より際限もなく積込みより此国全國へ賣りやらくとて伯爾西爾國に積出し
ても相渡山跡り居りしバかり○生糸此節ハ支那のサタリーと云ふ處の生糸は変りしを求めけれ
ども下物ハ向き少しく由此頃見きりなく糸ハ下物に而日本の方ハ積みきて糸ハおもしく賣
買ありしは價を引下げ其行うつき元と直すもドロ二分五厘程下がし此節ハ留買
入荷なし故に早くつきし○後月一月より入荷ありし糸ハ支那二千三百十二箇日本八百
八十九箇之此ハ飛脚船より御来りしは日本と支那との荷を合して支那より積出し
その三万三百箇ありとそ○綿此節ハ或ルロンドンの商人より書き出せる端書に此一周日
調その始めより...しく直ひ高まり...しまして綿花ハ...引下げて綿是
よりの上もの...ドロ二厘りかり日本の極上もの...ドロ二分八厘より三分
位なりし○今月ミつみロンドンより綿支那と日本とのものを合して一万九千七百
八十五箇之○日本白蠟此節ハ...しまし二百箱入札ありしとも賣れざるし
チユレー（南アメリカの西部なり）の政府にてヨーロッパ人を多く招く金をかし居てり
...国中に人を多く殖しその国の産業盛
にせん為め金山銀山水銀山多き處にて是を開き且又田畑をも開発せんとの事なり

○武揚下のバラバラ井ツと云ふ町の直中にて水銀の出ることを見出しよりて一層
に水銀多くなりん

右のごとく各國の新聞紙を日本に取寄て翻訳せしは...
各國の模様...なる事も知る日本の便の為...
新聞は八…の為に乗割...故に...英吉利乃飛脚
船ハ一月に二度づつ八此港に来ることの有れハ便りて...
速に取寄を...を...ハ...
...
...
...
...取引して一集...自百甲一集

慶應元乙丑年四月廿八日イギリス国の飛脚船箱館港に入りしに依て左の新聞を訳す

アメリカ国の部

三月十日新聞ニ曰北部将軍トマスより政府に注進状（是ハ電気キカイにて遠方の人と談しをする事也）を以て注進せしハ南部将軍チヤタムなる軍勢を引率して同しく将軍ハーリーに加勢なさんとてアラバマ（地名）を出立なせしよし然るを味方の将軍シヤリマン途中に待受戦ひ大に勝利を得たりハーリーの方にハ北部の兵も加勢せざりしとぞ○南部将軍ジヨンシンなるもの北部将軍シヤリマンに戦ひ敗北なし家を破り難なきよりて其遠軍を引率して其場を退きたりしに将軍ハ何れの地なるか南部なるかキヤーライナ国の内にあらん○南部弁使（ものゝふ）の志つりメーギートンに依りて注進なせしハ北部将軍シヤリマンを既にチラ（地名）を除りふさぎて取りしあらば北勢ひに乗じて程なくキヤーライナをも取らんと企てあると○北部将軍グラントよりワシントン政府に注進せしハキヤーライナ地にて戦争ありし時に星人も歩兵を多く見為りし実地に南部兵先達てより歩兵を戦ひに備へんと謀りしも果して手言のみし歩兵を従へしそのあらん○北部将軍ケストールの兵ハ南部将軍イエレーの兵を破りてリチスホルー（地名）近辺に追ひ退きし時に生捕或ハ戦死しその上数八十七人中に士官百人大砲七挺ワゴン（是ハ車の類にて運送の車なり）運送の車百輛を取たり北部方の即死ハ僅に十人なりイエレーを逃る者数多○北部将軍ケストールとチヤロヽベルと云ふ所にて軍勢を探り

しらうと云風聞あり○北部将軍シヤレドンはオイキスボローツを取りて今まさに攻めんとす在
来り○大将軍グレントーは南部の将ホレーチマントーの所を攻て好き未来を見る事多く敵の首をあげて
南部の兵士来車の道を防がんと欲して要害の周囲を取り居ると云風聞あり○南部将軍
リサーは敵軍との境に多く其備を築きて厳重に軍の周囲を取り居るよし風説あり○
北部にてアンローシヨンシンと云人今月四日和蘭領の人々と出会の事あり入札の事にて其人を捕へんと
する其の住居を仮に籠らんとする人又南方の者共を連て此人を捕へんとすれども其人の行方を知らずして
正伍なりけれども悪口せしを聞き新聞紙に載せたり○北部の武役中退役なりしに代りて
ターハートン をよび又大将と云人 と云人新たに出しとて○南の新聞にイギリス国にキヤナダーの開軍
艦も多く来らんとて云触らし又横浜にも多く来りて戦争の始りとなる事を云ふ事あり
りしより○今月四日和蘭領レンベンと北一ションシンと云人又一七ケ年の官職を辞するよし
決定なりしてあれ共も祝ひの儀式を執り行ひし

オランダ国の新

大評定所にては今年に於ても將軍家の法令を改むる評議をなし居る由にて
其方々にして此書面をば出して評議なして申して此書面の文権を取り扱ひし事も有之由
また此議定あらば政府あるべしと○其外政府にて取り調べし事の風聞もなし○其 其外
よりハ其よし其事を出し小説に難義なりて其事なりしと書き出せし唯今月十日に着し

ゆる西方を出し以て政党の者を加へて其外の兵○ジヤガタラ捕手其外ハ在其儀を出し
入荷其事多くして其外物入りし荷の数一万四千一ピコル程と云ふ○英仏其外ハイギリス国より
の出荷所に至して二三ヶ月の間により便りなくして売買になりしは其外し是を聴きたる申出
しも未だ来らず

スエツランド国の新

此度セルボイヘロベリサンと条約を結ばんと欲して我国に至る書面を出して当方の調べにて取り
使節を出して南方に其事にて其の調べして参り居るに然る其条約を結びたる由今
月四日に再び在所に及ぶ由其の事なり○且イタリヤ国より条約を結びたる唯今其在所にて
より調べて談判あり

フランス国の新

三月廿六日 日本二月十九日 某所にて今年一ケ年に入用の金高を見込て算当せしに
凡十四万九千百五十七ハウン二(ハウンはドル 四枚余り) 是ハ去年及ひコーチン二チヤナ(支那の内) より償ひ(此償金とは何の償の事か未詳)
ふ入るべき金高なり○国王より出し命令を今般評定所にて是を参へて返されし国王よりの命を評定
所にて評論の末其国を安く安んずる為め外国を安んずる為めの事に評定所にて其旨と国
王の命と符合せしと云○メキシコーより文通ある処国にてハ漸く乱静りて人民其の業を
努め盛りて手職業を安んずべき如しとなりしと云て彼の国に兵を差出し軍卒も不残

引なる模様なり○此国とスエデン国との交り無須ヶ殊ヶ調ひて来る四月十五日より始むるよし定まれり

フロ井ス国の説

我の新聞誌に記せし如く陸軍を引きするにつき三月廿六日大評定所にて議論ありし
是に依て今月廿三日陸軍機の乱中にうちさだめて右くるる甚重要なるの事なりし
事なりしが是によりて早く評論を決し其を○のことと○評定所にても国を強むる心を用
ひて居るところの政府は明白にあるは大なる模様ともなかるべし○陸軍もなりしかしてて此国
までも十八万人の兵ありても国の周囲を不足なり只今フランス或はロシヤ或はアストレーなどの
根本をかえる我軍よりも多しきなるよりて此等の国へは軍勢を多く増し非常の備をなさざれば
佛国などして第一軍勢をさし向けんも計りがたければその備なくしては叶ざるべきなり

オロシヤの説

都イヤンペトルスボルクに於て乱中より此国

在留の外国ミニストルは書面を以て申出たるに我国
よりアジヤに傍く所のあタツサイザラ丈を除き其余は通り旅人の財をなさしむべし此を答て聞き
兄弟国とも違ひて難儀あらんと思ふなり右臣共を以て貿易の弁利なるべしと心づ
きてあるなりと云ふ○新交違ひの者を害外カンフトローフと云ふ人（故ありて来て居る新来住の人）此二人或時
調所にて諸大名や侯あつまりしを宰相衛中なして新聞誌に載せし此侯の言ふやうは衰へき

新聞誌に載せてありしを読めば共和政の事なき者なりしか評定所に於る役人は下て
まて入札ありて其落札の者役に就くよしなし始の程は慣ざりける故人々不易なる落へ下ざるゆ
へ審をしざるかし又入札せるに一々と家にて事なと落さして皆集ひて入札ありて能し
あるかゝる事も大家の人を選ひ出し又よきを選ても皆の事を思ひとるゝる模様ありして
入札せるも必ず備数の中をまぬかれるものなれども○城下より出しる通りては此比熱病のいき悪
しき病の流行してつゐに死するもの百人も二百人も有り誠に難儀なる也此病の流行にて遠く広
く流行してヨーロツパ中にも移りけるよしなるなん

イスパニヨの説

此国の去年より来年までの出入の金高を勘定機の其中より大評定所へ出しと左のよし
出金の費用凡二兆一億三千九百七十万三千六百八十リヤール（但シ一リヤールと云ふは洋銀の事なり）千外の入用五億五千五百七
十一万八千百九十リヤールあり其余は政府に納る運上高は二兆一億八千四百十七万八千百三十リヤ
ールに右し出入を差引して不足の分は政府の地面を売りて其にて償ふ様なり○今月廿
ワエコピラノーと云ふ新聞誌に風説を記せしに陸軍を一万人程減ずる模様ありて後に此の右の
風説は全くのことなりと思ふなりて是は差しての風の如くに於ては六十メリンリヤール（一メリンと云ふ十百万に）
の金高減るよしなり○同じく新聞誌に風説を記せしにサンドーメンドーと云ふ島に於て内
乱起りたる事を知らせし人を此のイスパニヨ国を移りの部下なし至る事に属せんてを

致してありしとぞ

イギリス國の新聞

今月廿三日（日本十月七日ニ当ル）はプレンセストプレンスト（皇太子の事なり）の誕生日なれば上下の者残らず目出度の儀式ありし○
此度ベジン國の王皇氏の王に到着したりしとぞ○評定所にて先達より評論ありし夫の
キヤナダーの[illegible]に条約を定むと云一条につき始終も合衆国と親しみあらんことを
[illegible]手用意[illegible]あらんと云しを[illegible]合衆国より[illegible]し[illegible]南を重
役のカールワエローと云人[illegible]南の[illegible]あるに[illegible]の[illegible]に条約
を[illegible]と云[illegible]と云由[illegible]安心なし其の筆を[illegible]
[illegible]○アールコワク（是人ハ五ヶ月前より[illegible]人）年を[illegible]て[illegible]
[illegible]代りとして日本に来り[illegible]○[illegible]十四日（日本二月）[illegible]
田舎に[illegible]ひまり[illegible]病[illegible]の[illegible]病症（是ハ[illegible]の[illegible]）
[illegible]て[illegible]を[illegible]り[illegible]て[illegible]感[illegible]して[illegible]
○皇太子の[illegible]を[illegible]四十万ドルラルとう[illegible]○今月廿三日（日本二月）[illegible]のフランス王ミニス
トル[illegible]を[illegible]して[illegible]ミニストル[illegible]式の[illegible]を[illegible]して[illegible]
[illegible]其の[illegible]を[illegible]て美しく飾り又[illegible]ハ数百の[illegible]を[illegible]
し[illegible]人の[illegible]ミニストル[illegible]ひあし[illegible]を[illegible]し[illegible]



りの[illegible]二[illegible]合[illegible]一[illegible]とあし[illegible]人ハ[illegible]のに[illegible]あしくあして一[illegible]
方[illegible]し[illegible]あし[illegible]の[illegible]に[illegible]の[illegible]を[illegible]し[illegible]
[illegible]飾り[illegible]を[illegible]て[illegible]のり[illegible]
して[illegible]○[illegible]へヒンヤーと云[illegible]一の[illegible]村ありて
[illegible]男女[illegible]を[illegible]して[illegible]男と云[illegible]
くりて女の方ハ[illegible]し[illegible]を[illegible]上[illegible]し[illegible]
あり[illegible]人あり[illegible]二人の[illegible]男[illegible]の[illegible]を[illegible]
[illegible]あし[illegible]て[illegible]二人の[illegible]を[illegible]し[illegible]て[illegible]
[illegible]を[illegible]し[illegible]ハ[illegible]を[illegible]して[illegible]を[illegible]の
[illegible]一[illegible]を[illegible]て[illegible]の規則[illegible]一[illegible]にあって[illegible]あし[illegible]
ざを[illegible]ハ[illegible]を[illegible]とて[illegible]あし[illegible]成の[illegible]を[illegible]あしオース
トレー[illegible]○又[illegible]一の[illegible]あしサンタブランと云舟[illegible]
あり[illegible]を[illegible]して[illegible]に着[illegible]し[illegible]二人の士[illegible]し[illegible]に此
王の商人[illegible]の[illegible]を[illegible]して[illegible]を[illegible]商人[illegible]
あるして[illegible]王[illegible]し[illegible]を[illegible]商人[illegible]
の[illegible]ある[illegible]を[illegible]て[illegible]を[illegible]て[illegible]夫の恩

をなしくるもの八密覩と見まかりしき故何卒肖像を譲り呉れよと越えし
去復五六月も過ぎて彼の商人亜米利加より金銭を以の士官の妻に贈りしも金銭は棄
の妻ありて手紙ハ夫の士官の棄り居りし[illegible]帆きし かし後ち自分の女房死
して是非なく士官の墓地に並べて葬りしとぞ 携えたる右の商人ハ夫の士官の妻の
肖像を貰ふ守しよりて後妻[illegible]其後子生まれたるを子供等へ見る夫の像をも
送り後に至りて三度迄使を待つし書通し女の方にて此金銭を見て あながち八つ裂ハ妻
なかんずくし あまつさへ[illegible]セバ元と云ふを受けし事ありし故其男の[illegible]並べ難き飛
脚なしとで ○茶 此節八五六月頃の分子に在あらんず季後一月斗り過て夫の男亜米利加より帰り 大殺と
下落しくるり時価ハ十両位よ今ると[illegible]下落せし 茶の[illegible]数抜メリン節行之○生糸式
ハ上の品物少し[illegible]依て競集ちかしく実き二ヶ年目よも直段ハ只今[illegible]変らじ
下落し○綿 此節ハ売れ行ふつきドロ売屋ありも[illegible]
直りしるつき九廿一枚子廿六枚まて位[illegible]上中 廿九廿二枚より二十三枚迄○レバ
あんしよ[illegible]茶の売り[illegible]よ[illegible]万三千首之外年の三月までし首数ハ世万六
千五百九千首之き○五倍子 此品ハ去卯年日本よりかしく直段よ[illegible]○三月廿
六日[illegible]三月 ロンドンより[illegible]機をなして出帆せしに アメリカ南部の軍艦ストムラーん



船の名 ホルトガル国のレスボムンと云港へ入りこりし事を[illegible]此事を八元来南部と条約を結ハざ
りしよりて[illegible]して手時に北部軍艦ナヤガラとサクラメントと名づくる二艘
港の外に碇泊し居りし時北部の軍艦[illegible]を[illegible]○同廿九日に出帆
ホルトガル国の[illegible]より北部軍艦を大砲を打掛けなり 英国ハ南部の軍艦を[illegible]
時ハ北部軍艦是を追ひ打かかんとて錨を揚げて見しよしも八二艘軍艦の法として[illegible]
の地に於て私の戦争[illegible]を[illegible]而る[illegible]より敵船を[illegible]廿四時を過ぎさせるを
[illegible]少し[illegible]の[illegible]事を少部軍艦より[illegible]をも[illegible]して之○四月朔日の
[illegible]ハアメリカ北部政府よりホルトガルへ書面を以て[illegible]事を及びしょうそのみ[illegible]我
軍艦ナヤガラに向て砲発せしと云ふを謝せしむ 掛[illegible]ホルトガルにてハサクラメントの錨を揚げし[illegible]依
[illegible]大砲打掛けしとの[illegible]依てサクラメントハ[illegible]ナヤガラも錨を揚[illegible]
樟脳[illegible]七枚より廿八枚迄○支那[illegible]に揚たの如し 四月廿八日 [illegible]
より五枚○[illegible]廿九枚より十枚○大豆上の[illegible]二枚より二枚[illegible]五厘○[illegible]四十枚より五十枚○[illegible]
錫 廿五枚より卅枚迄あり

慶應元乙丑年五月十一日イギリス國の免許船着岸したるよりて右之新聞を得る

イギリス国の説

三月廿七日即ち三月大評定所（諸大名集会の場所）にて於國一人の大名其外總ての属国取締り并三の法といふ
きりなき者あるをやめさしむるに属国の国々ハ其自国にて海軍を調へ自ら守備をなし且
入用ハ其国にてとり扱ふやうに致さば年利あるべしと〇四月二日（即ち三月八日）大評定にて
て或大名書面を以てやめさせ政府の入用を以て人に依りあまたなる學問所を建て其法
則ハ是を教育ありし學校の法と同しきをなし然し其組合の内ハ別にて取扱ひの
くあるをを出しうべし〇下の評定所（町人の會合）にて於て聡穎博識其外なるの日第一の学者
なるものあり役にてコブデン（名人）死しつつ此人ハ能く廣く学に通し其智識もなき性質
にてはなはだ其あるべきと思ふを致すもの其國のみな大なる功ある人なり是に
よりて最も惜むべきことなり（此コブデンと云人の死ハ我あらんかた我方あるをも其文字のと
ぬ〔け〕るしたるを愛の風あり）
〇海底にテレガラフを張り（其所ハアメリカと此國との間のテレガラフ造りと云ふなり）をもつて或人書面を以てやめさせしむ
海の底に張るテレガラフ針金ハ甚だ丈夫なるものにて是を敷く海底を渡る所よりある
に昔より試むるに僅か二年の間も持つをなし然しイタリヤとコシカとのあいだのハおあ
のをつしして是八十ケ年より持ちしもあり其外金の長さハ一百十里（英の一里ハ日本の十四町四十三間）深さ
を百尋より三百九十尋其重みハ一里につき七噸ずつあり（一トン七百斤）元来海底のテレガラフ

フ針金ハ若し一ツ損する事ある時ハ聴斯通する事能はさるもの也是ハコシカーとスハゼーとて
大状のものを用ひて製りて又軽く造りしケーブルにてハ深き水にハ用ひ難し其故ハ切
レ易く且錨に引掛り或ハ潮にて擦磨する事なきにしもあらす若外面磨損する時
ハ心の針金其用をなさすして最も深の中ニハ錆ひ易き故磨ニ強く太くして
且重くする事二万里[?]し大状なる時ハ少しの損ニありとも損ひなきを出来すものや
元来海の深さハ百尋位の処ニ張るも大海と思ふハなくて然し二百尋三百尋の深き
みのなし依りて損ひの針金損り損しくなる心の針金を深へ播いて又沈しけ
あり二至るケーブルハ一里ニ付き二噸位ありて之よりも軽き物を作て軽きケーブルと云然し
右針金の軽重ハ鉄の性によりて且海の深浅ニよりて異なるもの也ハ一枚ニ達さる事の出
とハ容易難し外輪ひの鉄針金を巻くニハ麻とベドマシと云ものを以て包ミ其外を巻とき
軽くしても持ち出し○月十日掛りより或一人の大名政府に向て先頃ボクシ玉に乱起り
しと申しける政府にてハ此度ある所持品を売る鉄ボタン玉を印度人陥く一ツとある
をハ甚出しけるか又或大名日大状なるを得るも只今評議する事なれとも此後定て
中ころつき評定の上面ある事ありしに付之を用ひて能く事ありて一つく出し被らん政
府にてボタン玉を印度国に陥さ[?]致てもふのるを常にありて然し事ありし所の陸
軍ニ至り印度の表の緊要なる場所を固めし 又或大名日我異なるの陸

年を引掛もとの出しうらん重なる損と云ハ其年なれとも出し百倍 異ある事しもあらしらとも
大なる動あるなしとて此頃所見なる事をうるとも知しくらん○ヨーロッパ諸国の帝或
王の年元金一ヶ年ニのゝ多数左の如し ヲストレーの国王 七十六万七百八十七パウンド
欧羅巴トロ フランス国王 百万パウン イタリヤ国王 六十五万パウン 日本教師ニて
王子と其欧ニて人の給金を百万パウン プロイス国王 四十五万パウン オランジヤ国王 五百七十
万パウン イスパニヤ国女帝 五十二万三千五百パウン スヰデン王二十六万六千五百パウン
ハビリヤ王二十四万九千六百五十三パウン トルコ王百卅三万三千八百八十二パウン イキリス女
女帝 三十八万五千パウンド抑 此王の欲ハ一年中日の昇りを見ると云程度
大なるものなれとも金なき所なる比較を出きる甘心○錦の大なる損失
あるとものにありて一軒ある元百十萬トルニル程の様にて或ハ甲家の大なるとの戸
もあしくらの手形損を為や 其事き所なる重要損なる競ニ本あり○葉茶ハ
本邦の茶きとの出荷と為し日本の葉を向き出し手数異やし 荷物ハ大国ニ
りも多きまいハ本邦の日本との荷数六月晦日掛りより 子あるし 六百十五
メレン斤 大 昨年の今日ハ百六メリン[illegible]斤なりし○生糸 本邦の生糸ニ
あハ様く高きを其路上より並ニ日本のとよりも無りき本邦種上系を斤ろ
き九十枚一分位日本本種極上九十七枚五層位なりし○錦 本邦の高値なりし

よりも去ル[illegible]月[illegible]にて[illegible] 此ハ三月 ロンドン[illegible]人数一万八千三百
余箇所年の[illegible]ハ二万四千五百十五箇所[illegible]○[illegible] [illegible]上海[illegible]
[illegible]○[illegible] 日本と[illegible]○朱[illegible]ハ[illegible]
売買[illegible]との事○ローエルユナイトイフステート三ニ[illegible]
[illegible]
車[illegible]一国[illegible]球師ハ丸き[illegible]
[illegible]
[illegible]○[illegible]月廿四日[illegible] ヒヤ[illegible]
[illegible]と云所[illegible]
[illegible]ナニ[illegible]の[illegible]
日本ヨーロッパ[illegible]○同廿日 スサデレ[illegible]の[illegible]八千七百四年[illegible]
日本[illegible]大風[illegible]
[illegible]大水[illegible]時
[illegible] アーリンと
[illegible]一丈程
[illegible]二丈程[illegible]○又[illegible]
[illegible]一のヴアーブと云[illegible]

[illegible]の二三[illegible]
[illegible]
[illegible]ハオードアコレ川[illegible]
[illegible]水の[illegible]
[illegible]○ハリスの[illegible]
[illegible]フランス[illegible]のバルメートル[illegible]
[illegible]

オランダ国の歌

[illegible]のアレフレーテータムと云人[illegible]一艘[illegible]
[illegible]キヤラナ[illegible]キンコ[illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible]王[illegible]
[illegible]
[illegible]オランダ国のアムステルダム[illegible]
[illegible]
[illegible]○テータムブロオス[illegible]

亦都ニ居りし軍艦ニキラ井ナ國ヨリ戦を挑むと云事し[illegible]ハ宮方キラ井
ナ國を手に入れんと欲しての事なりし[illegible]○英[illegible]の新聞ニ[illegible]
く[illegible]事実をあらし○[illegible]
王ナポレヲン[illegible]アラジヨレー國ニ[illegible]ジユールースルン國ニ[illegible]○英
く[illegible]○パリスの新聞ニ[illegible]イギリス國の重役コブデンと云ふ人死しけれ
とう[illegible]性質温和にして才智ある人[illegible]千人[illegible]
[illegible]○或[illegible]
兼船オーレントウ破船[illegible]事新聞の[illegible]政府より[illegible]
[illegible]あるよし

○プロ井ス國ノ新

陸軍[illegible]より大将[illegible]書面を以て[illegible]六ケ年の[illegible]の入用金を[illegible]
[illegible]十九メレンテーラ 壱テーラ九匁トロ位 [illegible]十メリンの金ハ用金を[illegible]
き[illegible]
しより千八百六十二年 今年ハ千八百六十五年[illegible] [illegible]
[illegible]居る

アメリカ國ノ新

今月廿日南部将軍ジヨンストン[illegible]ベントンベレーと云処ニて敵
ニ押[illegible]大砲三挺を奪ひ取りたり[illegible]時敵の援兵八十里斗り後の方ニ扣
[illegible]の軍兵の勢ひ鋭き[illegible]押し寄せ来り[illegible]
[illegible]之を以て戦ひニ勝利を[illegible]
[illegible]敵の将軍ホカラを[illegible]○東部将軍フラ井キを
ケンシンと云[illegible]四万人の軍兵を以て[illegible]スコーフ井ルと云ふ人[illegible]
[illegible]南部大将軍[illegible]北部大将軍グラントハ[illegible]戦の用意調ひ
し四[illegible]戦ひ[illegible]○北部大統領レンコロン[illegible]将軍グラントの[illegible]
より[illegible]依て[illegible]和睦[illegible]
云合[illegible]○[illegible]全の[illegible]依て諸[illegible]
ニ[illegible]人[illegible]○東部大統領[illegible]
都と和睦[illegible]勝敗を決せん[illegible]
[illegible]○レチメント[illegible]人の兵[illegible]用意[illegible]
[illegible]○或テレガラフの[illegible]北部大統領[illegible]
[illegible]殺害[illegible]東部の
[illegible]或ハ二心を抱きし[illegible]文東部レチメントを北部ニ攻

取り逃し剣ハ大将軍生捕られし由なれども決定ハ何ゞ[illegible]

新聞紙にハ見ゆれ共未だテレカラフの知らせなき故に[illegible]

然るに○キヤラホーサ井名也日本より来船の者[illegible]

申しつけしに帰国し政府より[illegible]

[illegible]

ニ日本横浜[illegible]



今般米国の新聞紙を譯し出版致候に付横浜新聞と引札

と又[illegible]海外の歴史[illegible]

右和洋新聞紙の毎月[illegible]

[illegible]要用なる讀者ハ横浜東[illegible]一ヶ所を聞ひ[illegible]

[illegible]住所を[illegible]

[illegible]

[illegible]五百文　[illegible]

五月　日

敬啓

慶應元乙丑年五月廿二日イギリス国の蒸気船横浜へ入津しけるよりて左之新聞を得

たり

アメリカ国の記

四月六日 和暦三月十二日 南北戦争ありて南部大に敗北し将軍イエウエルを始め[illegible]人の

将軍なら[illegible]五千人程生捕られ大砲十四挺奪ひ取れたりとぞ○同七日ト

新将軍グラントより南部将軍リイーに書面をつかハし[illegible]勢力を

尽して戦ふ[illegible]と[illegible]力及ばずまして[illegible]

[illegible]○同九日リイー右の書面を[illegible]

[illegible]

[illegible]○北部大統領レンコロンより[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

の夜北部大統領レンコロンハワシントンの芝居を見物に行[illegible]十一時とも[illegible]

の[illegible]ものありて[illegible]大将軍グラントよりの書面を[illegible]

[illegible]大統領の[illegible]袖銃をもて一発に打倒し[illegible]上へ

取られ且副ハ大将軍生捕られし由なれとも虚実ハ何とも[illegible]
分かるへからず右の者ハテンカラフの新しき都を攻め[illegible]附て勝ありて八百[illegible]
其後之○キヤラホーサ井と名付る日本よりも船の出国ハ助との龍郷[illegible]大評定[illegible]
おしこうりしに遅く免しありて政府より為銭徒して年て五十万トロあまを
下るよう定まり拙者子来年の頃ハ龍郷私室ゆく出るやう事欲あるへく無[illegible]
と日本様々の船の渡るを差留むるなるへし



慶應元乙丑年五月廿三日イキリス国の飛脚船長崎へ入津しきりて右の新聞を持
来り

アメリカ国の新聞

四月六日（千八百六十五年十二日）南北戦争ありて南部大将を殺し将軍イエウエルを始め五千人の
将軍ならびに兵卒五千人程生捕られ大砲十四挺奪はれしとぞ○同七日ト
北部将軍グランドより南部将軍リイーに書面をつかはし此ひの戦を止めたく飛力を
尽して戦ふとも所詮力及ぶまじくそれよりハ早く降参あるへし[illegible]
しかるへしとぞ申遣りける○同九日リイー右の書面を請取見て右ニ書あつて
[illegible]降参あるへしとの如く[illegible]一書の[illegible]談しける[illegible]
[illegible]○北部大統領レンコロンより命ありしかハ南軍[illegible]
き[illegible]の[illegible]して[illegible]の一[illegible]
[illegible]を[illegible]べし[illegible]一[illegible]
[illegible]合衆国の戦争ハ一方の[illegible]○同十四日[illegible]
の夜北部大統領レンコロンワシントンの芝居を見物しけるに十一時とも[illegible]忽ち
の[illegible]ものありて[illegible]大将軍グランドよりの書面を[illegible]戦ニ[illegible]
[illegible]大統領の[illegible]袖銃を以て一発に打倒し剣を抜て舞台の上へ

兎ひより剣を揮廻しつゝ裏口よりすげ去んとする所ヲ其家の者共出て彼を捕へんとし
ざりしを見しハ又々驚き狼狽ありし急ニ捕へ得ざりしとぞ○同日同時ニ外務宰相ニシーワル
外務宰相トルくり[illegible]子供を守るニシーワル子供[illegible]乗りし[illegible]馬車ありて外し成
一人の狼藉者のシーワルの館ニ来り[illegible]或醫者より薬を持ち来りしなと偽り
まゝつきて[illegible]目見の上開きる法を申[illegible]或者口授[illegible]し[illegible]由申入[illegible]し取次の者の[illegible]
を拒み日毎ノ八時[illegible]ける[illegible]を申[illegible]しとハ其子を取次の者を打倒し奥の方ニ走入り
[illegible]し計り[illegible]もシーワルの臥居たる[illegible]ニ入り[illegible]ハ其子狼藉者[illegible]して鉄
杖を以て頭を[illegible]打しまゝり月[illegible]みて[illegible]まで[illegible]病[illegible]ニ[illegible]走合ニシーワルの
狼藉人二人を[illegible]倒し[illegible]ひし刀を抜取り病床ニ走りより[illegible]ニ[illegible]シーワルの
胸頬の[illegible]刺し[illegible]して[illegible]逃去りしとぞ○醫者[illegible]療治ありしていい
[illegible]金瘡十[illegible]程大い[illegible]ども[illegible][illegible]ハ大力衰へ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]傍の者[illegible]とぞ[illegible]疵を[illegible]も[illegible]大[illegible]疵を[illegible]狼藉人[illegible]
大[illegible]なりし○大統領を殺さしもの[illegible]ハ芝居の役者ブーツと云者なりとぞ[illegible]
[illegible]ブーツと云[illegible]二万[illegible]なりとぞ[illegible]手者の衣服
の[illegible]一通の手紙を[illegible]金銭文面の[illegible]ハ三月[illegible]
[illegible]をなりしシーワルを害さし者手[illegible]し[illegible]来[illegible]

[illegible]幸[illegible]思[illegible]で今[illegible]延ひしと云[illegible]ありし○[illegible]ワシントン町中の
者[illegible]きありしなる者[illegible]し依て諸商[illegible]○同二時[illegible]将
軍アレガトー ワシントン市中[illegible]の[illegible]より[illegible]着し右の狼藉者捕[illegible]の[illegible]
て一万ドルラルを[illegible]ブーツ[illegible]捕[illegible]由○[illegible]大[illegible]
ジョンストンを大[illegible]チエースと云人の[illegible]の[illegible]
○四月十五日[illegible]将軍クラントーとレチメンを出立[illegible]日ワシントン[illegible]着し[illegible]
○クラントー陸軍[illegible]陸軍の入用金[illegible]ハ大[illegible]減[illegible]して
一日[illegible]百[illegible]ドルラル程[illegible]減[illegible][illegible]軍[illegible]の[illegible]○リイーの[illegible]
[illegible]の[illegible]或曰彼ハ将軍ジョンストンの[illegible]の[illegible]
[illegible]或曰[illegible]キヤライナ[illegible]の地[illegible]て[illegible]し或曰今般レチメントニ[illegible]
[illegible]の[illegible]して[illegible]或[illegible]ヨーロッパ[illegible]
とも云合へり○ニユーヨーカの[illegible]ハリイーの[illegible]三万人ありしといひしが[illegible]
今捕[illegible]ハチ[illegible]○或[illegible]の[illegible]リイーの[illegible]
[illegible]ありしと[illegible]キヤラ井ナニ[illegible]の
ジヨンスーンの[illegible]多く[illegible]○レチメント[illegible]ニ入りし[illegible]て合
[illegible]國中の陣営[illegible]毎ニて[illegible]を[illegible]陸軍[illegible]命[illegible]て

同日も二百發つゝ放ちし

オランダ國の部

四月廿三日（蘭暦三月）出版ハ歳子十分夜の日景色ありき寒暖計七十五度より七十九度上ニ致せり
○評定所ハ今子授休み居たり（星休みといふハ年々定例にて三四十日の間なり）○政府の事を議するにあらず度々あり
しとなし ○チヤガタラ薬ハ鏡薬のしく出来る砂糖も尓鏡薬の出来し 明年ハ結尓
ア鏡薬中あり フリツキも出来申しくよろしく

フランス國の部

四月廿九日国王オランとのふなれり 又アモジヤといふ國の陸にそれより其傍つる
アジキヤシヨと云ふ處へ立寄りて来月廿日ニトロンと云ふ處へ参るとぞ 國王の出張立のことは
温泉水を試むる為なり 當時同國ニ於て病気流行しておりけん ○國王の弟
ちゝ后信ニ大尾張子ありて國王の出張先の役人ニ来るまで上國を病敷し○
月廿二日アメリカ國のミニストルにてビキロートといふ人國政府の書面（日本ニていふ信任状）を以て入城ニ
（右は去の新年ニ生徒出立のアメリカ國ミニストル死去しといふを無きにより人を代りとしたりしあり）
し國王ニ對面をなし ○徇識國の
字と人ハ出ハ高門ニ続き来ニ致し [illegible] 政府より
いろ [illegible] 國あし [illegible] 枝ヌラエン河の [illegible]
帝中ニ書面を廻し [illegible] の [illegible] 國あし [illegible] ベし

○セーボーといふ處ニ病流行なし居る〔所〕病といふハオロシヤの境トセバヒトロスボルロトニ在る
流行せし病と同しうして多くさ亀人或ハ貧或ハ人ニ傳染なし殊ニ山中ニ住居
なす者ハ此地ニ住居なせし者より多く死し恃ニ書子ハ貧窮の者富貴の者の居
所なし（新ニ貧窮の者なりと云ハ人々の新築ニ住居の情さと清めざると[illegible]食物の[illegible]悪しニ係ると云ふをなしけん）此病気の始りと云ハ先年一
ニ頭痛なし而して後耳鳴り夫より目眩をなし子供などハ僅ニ當時一日九を過
ぎずして死を致す動変病にして其後ニハ熱病のごときものなきとも出来るし病
者ハなしセーボー此地ニ流行なせしハ鐵物なる鉄ドーコを始て用ひし時よりして流行
なし始めたりたも重ドーコニ當りし人々ハ[illegible]し者多く外ニ而て働き居りし者
ニて多く死せしとぞ或ハ薬を[illegible]して[illegible]日書生の人し [illegible]を[illegible]て醫者の
媒ニ當りし者ハ病を発せしうえは鉄製の[illegible]ニ當りし者ハ多く[illegible]し[illegible]
生徒なし全ク鉄[illegible]ニ當りしものハ皆夫ニ於ひて四人程死せし 他の[illegible]
にて鉄[illegible]を用ひざる人々ハ此病の百度なし[illegible]ニ西洋のを[illegible]或る大醫[illegible]を[illegible]
て醫学致たりセー[illegible]ハ[illegible]ニ大を[illegible]オクスアヰトカーボンといふ物を出すをなし
[illegible]を鼻孔より吸入するときハ此病を[illegible]るとぞ

テヌマーケ國の部

四月廿五日（蘭暦四月）四五日以来ハ[illegible]ひのをあつて[illegible]

思ひしきすめらる陶く治りて起中彩しぞ栄えて其の変りて勇てるるきらり

ヲロシヤ国の部

此国の太子十廿三と云所ろて此る程以前より風邪を煩ひしらナヒつるテレガラフを
以て父に送りしるハ父いと快く成きりと訳り下のくるにの丶右国ありしるハ織工猶
微弱を起し旅程の重病となりしきと許り急き家族連りし於其人何ほと若きにぞわハ実
叶ひし后ハ程なる蒸気車して ナイシに行りしそく種々ありて国王ハ十七才か其外出立ありし
ハリるを通りし于フランス国王親ら出迎ひありし其る王様なりける此所て蒸気車の
テエレに到りと帰为ありし陶く廿三日ナイシに着し廿三日太子を逢りし既長ある
皆舎合ありし特ち太子の病気弥重く有りて廿四日の朝遂に逝去ありきとりし○
ある欧羅巴ニイギリス国より此国殿下に医者を進し除り病の殆ると見せしと
ところを示し此者会場下に着し此国の孫子を見るれやうきとしたハ病人ハ為つて殺め
あし此に至るの病院を見て見る人来の数ハ朝から十二日るとの分より十八十
四人あり十二日る日野戦る戦りましてハ七十二人ありし此ら数ハ全陸軍所の病院にて
死去し玄如く居しぞ都て陸軍所ハ病人引さし且此所ハ市中に清き水を引
入る工夫ありし居る宅ひ水清けれぞ悪ハ各ハケ所の病气来りらゆぬありし

テヌマーク国の部



甲斐 廿四日（即今三月 北九日）碑を建てんとて国王親ら出て其国ありし地形をならして此碑を
つふハデタハーケンの戦ろ治りしまとって此始末を明細に像して死にし人の名も又後
来の人の為に建てきくとの也

イギリス国の部

四月廿四日大評定所にて諸役人立合評議ありしるなしく変りしとありし今年
の入用金の積り出来るハ肉料ましし○風聞ありて九月廿四日ハポルトと国の太子と女
帝の三人月の姫君を嫁さるとしとき○又風聞ニグリースの国王ショージユといふ人
オロシヤの天子の孫オルガーと云姫君を要りし然し此姫君ハ懐妊にあり是ハ
全く聞るゝしても程三ケ年に治るあらん宜しく各国のさまるにハグリースハ小国と云ふへ
きるハ亦る為にハオロシヤ国にて親く門を閉ひて世話ありあらん○さ勤定奉
行にも出るとち所の今年一ケ年の入用金積り出ハ為ら昨年を同し積り
昨年総入用六千六百八十九万パウン（パウンハドルラル四枚なり）税ありてのうし金ハ昨年六月を
と年六月より七千三十一万三千パウンありしき○ロンドンのメトポロテンポリス（町見ハ町奉）
行所の事て昨年中捕ひし西洋人を出面す調べしる不揃ありと追との千九百三人の
手前重き罪の者一万四千七百三十八人ありし此所中にて罪科にあひ手前悪者の
ある失し金ハ四万七千七百五十七パウン手内元を返し金一万二千七十七パウン

なり市中瓦律役所にて召捕ゐし者總て三萬二千三百八十七人なり其内瓦調に係
て罪ある者しもの三千四十二人罪ありして赦されし者五百五十七人其外二百一人ハ
罪なく事遂すて捕へしなり其罪ある者との内すて讀ミ書き出来ざるもの男
それ六百六十五人女それ二百四十七人ハなり讀ミ書き出来る者男それ千五百四十六
人女それ四百三人能く出来る者男それ千三十三人女それ三十人其外男七十四人女
一人ハ才学ある者よし居らく此者ハおもの職ニ合せて勤めをましなり○バル
ニテル是ハ所人の兵そうてるあるまハ其代調法なまし其等の事籍ニして進退短り能く調
兵うをおさまるものなり
ひて有りし○ニユヨーカ新聞ニ載りしにアメリカ国の軍艦ジヤヨラーリヨンと云ふ船九六
百人程の人数を載せオリメンドン船を出立なしフラーワレスマンローといふ処志して
ハトラースと云ふ処を通りかかりしに何にかくしてかん朝の十時頃ニ火事出て彼是
其内ニ而て定甚なしく載りし人々ハ多くハ病人なる者避けがたく且風
強きれ舟ハ風下ニ吹流され漸く近づく者ハ助舟ハ其日も暮れかゝ船主ハ避
なんとて急ぎ端舟を卸しおりしを條ニ船打ちせし端舟を覆し船主始水手
八人溺死しくり其外の人々も五十四人と破りしおりしが漸く助かりし者ハ廿九
人なり後ニ其舟を見たりしに水際まで焼け沈ざりる浮兵なり○茶
高耶の国の景気ハ日々景気よしく出し日本の茶も其直段よく上りたり終し

是ハアメリカニ而多く積りすてあるしく見めも高くつゝく至る高なりしん○糸の
種の極上品ハ競気来よしく出し其直ハ上物の糸ハ甚だ多けれバなり粉ミも少し高く至る
売買ありしハ高耶ニ糸千八百四十五箇日本の糸二千六百六千九箇なりとく云
合せニハ日本の糸ハ高耶製法宜きニなりて糸甚だ下るとも○綿其糸ハ直
段下るとも計さるにも今アメリカより多く渡来して又上り少り百斤ニつき四
枚程なりくり○椰子油其直段宜し○大黄ても少しく競気出し○
麝香ハ上等のもの高直なりまでも宜し
高耶　毛尾の毛漆大黒なりものなし
腰及る百斤ニつき三枚より三枚七ト○スルメ日十枚より廿弐枚迄○丁子七枚半○銅
十九枚より廿枚○象牙二百枚より二百五十枚○鉛六枚○手貝四枚より八枚○白檀
三枚半

慶應元乙丑年閏五月十日イキリス飛脚船入津ニ付て左ニ新聞取訳ス

アメリカ國の部

四月廿九日 日本四月廿四日 ボウツ大統領をハアルトウを害せし者 附勢宰相とも逃去し其後騎兵を追掛ケ
れ百姓ギアレトウ与る者の狼家に逃込ミ居ル処を追手来り直ちに其家に鉄砲打かけ
しまよりてボウツ其首をおれ討れ死せり 又ハルトウ其至罪ハ捕れボウツの屍と共に
ルトウ城ワシントンに送りけるに其外ボウツの兄弟ハ至りくの板を撤して出ル事を直せし
醫者ムット並ボウツの兄弟等も捕れしと○ 北隊軍の大将スタントンより其手ハ翁
しかハ今ホワて此事を定めしは大統領を殺んとせし者ハキヤナタより来りのて
此事おこりハリキテデントより内命を受てぶとしと○ 附勢宰相スーワルト疵を受て逃
日々快気の方ひて婦るを内孫ニあとしと○南の方の者にもモンドカムローと云城北軍ニ逃乱
降るを援兵なる孫の数九万四千程其事あると 但し一切の事ニ致ス所住 ○サンフランシスコより コロン
ビヤ駿の条ん和ニ傅信機ニ依ル事なと也○同十八日北部将軍セレメンと南部将軍
ギョンストン両軍共高縁の事ニ付此場ニ而軍ブリキレイギモ其 と云事を申合ニ
ワシントンに至りて新ニ統領ギョンスニ並ニ大将軍グラニト共ニ其先の事を合せ反セし
メヒの知識を計らずる何とも申居ルよりて直ちセレメンとの事ニ追捕及ひ再戦の事

抜命せられし将軍グラント兵職を指揮せる為に即日北のキャライナに出て六四ヒュリイ
レと云ふ所に於て劉兵ーセンメルレン側の兵を破り傍セレメントより南チョミストンに破線をも張り
北将軍ハレク。シヤレトン。ミイトン。プレイトの四将にチョミストンの遁路を遮勢せん事を成
命せり。教皇進退の事ハ将軍グラントの命に従ひ謹で執の働せんと答へけるとへし
といへり○同六六日チョミストン一軍を率て卒てセレメント降伏せり是始末ハ先に出る南
将軍より升イが北将軍グラントに降りしめたりし兵軍ワシントンに於まし陸地の兵中方
に於て軍退く兵を職分せしと○南部大統領ゼヒスウ兵レキメントに逃出し南キヤラ
イナに入しと云ふ時仲の者が年の兵丁ハ凡六百万より八十三百万トル程を車に積みて引七
しと風説せり○此の政府に於て南将軍リ升イに備せし兵の役人ともに切ちを従
ふ外国にありしハリハ千大臣迄ろまする籠は兵を捉へて殺放れしとぞ○前大統領
ヨミスンの説ゑ当新の職所にて兵職を加く来たる生りて役死ちまする事まありといへるが我
方を思ひしボ人ハ兵死なんと

## フランス國の部

青七日英の月アメリカのミニストル共始んフランスの広告あり其時府のワシ
ントンの大臣領書を遣し我方ひ且大臣領の書も内謹を以て降伏を遂しと云へり○

今八日政府より注宣に出て西洋凡百合五三百六十メレンブランケス右ハ国中へ
の為に備えて銭を定め中入しとかや　但し一メレンハ一百万あり○右ハ向六ヶ年目のの用あり一ヶ年に
六十メレント是は金子ハ並税の偽りと栈木
又四千フランケス三ドル

## イスパニウ國の部

ミニストル附の役人レイトと云ふ者五月七日ニナルラートアに於て出帆して南アメリカの
ヒルウと云ふ所にして共ハビルウとイスパニウ是従来の二国に往して直り
中しより宣紹の書面取替したる由ありと

## ヲランダ國の部

五月七日注宣事を捨て砂糖税の事を入札ありしく道に此使を四五日道に捨ててあ
りしと○樟脳ハ兵と同様あり茶ハ随分高きよろし○綿ハ高値にて買多し
三千九年より四千九年斗り外国に輸出せしと其子多くハ日本と印度ありと

## アフストレイ國の部

注宣子を捨て一人の者迄自ラハ此在アメリカの大統領ヲ為害したる事に付云ハ其事の為の事有あ

状扱ワシントンと名け方よろしくあるべしといへり　右説ハ服しワシントンにある自国のミ
ニストル方ゟ出る書を以て大臣方へ早速ニ振り取扱

イキリス國の部

四月廿七日大統領並大名集会して此時時勢事取りいたし候よしアメリカ大臣ニ告
害出来事有りし事ニ付てハ其事の悉の事態未た月一日まて悔状をアメリカの政府へ
差出す女王よりアメリカ政府へ此等之事を遂け□を達し〇五月一日右之悔状を遅
大統領之事よりも掛合ニ及ひ候処時勢事取りいたし候よしアメリカ大統領へ合ニ而ハ我国中
におゐても憤怒無之居候趣をアメリカ政府へ通し差支之無き事の旨人ニ而取計ひを頼む
〇然る時時勢事取りいたし候女王よりハ痛く悔状を送りアメリカのリンコルンの
害ありし由状を差出しと〇リンコルンハ生質廉直にして仁義厚くしてアメリカ国中
リンコルンを志すと申候者も有りし也其戦争を為し候人苦むといへとも又リンコルンの法を伝
き苦心を尽し今度せしめ其事の悉副大統領ジヨンスンを大統領とあらしめリンコルン
の志を継ぐる事を致しつかへりとコルンの意を遂け且つ候人もあまねく恩をあらはして
〇四月廿七日下の諸院議事に於て出勘定せしより両年の出入金高大凡の積り左の通り
出金の分

金利の分　政府并大名或商人より借用の　　二千六百三十五万パウン　但一パウンハドル四歩余
利母子金の分　　百九十万パウン
陸軍の分　　千四百三十四万八千パウン
海軍の分　　千三十九万二千パウン
御勘定所より入用の分　　四百六十五万七千パウン
其他役人の給金　　七百六十五万パウン
飛脚船の入用　　八十四万二千パウン

総計　六千六百十三万パウンあり

入金の分
運税の分　　二千二百七十七万五千パウン
商人　ち役金　　千九百三万パウン
スタンピス手形の税　　九百五十五万パウン
地代　商人住居の　　七百八十パウン
並の税　　三百三十五万パウン
ポーストヲヒス飛脚屋の税　　四百二十五万パウン
王侯の地代　いはゆる天子と借用せる土地より出る　　三十一万五千パウン

右之外種々の税　二百六十五万パウン
支那より償金　四十五万パウン
総計　七千七万パウンあり
右之出入金差引入金餘分四百三万一千パウン政府に納る趣を御勘定奉行ア出ス○
依て近年茶の税高くして諸人あつかれ右之四百三万一千パウンの分を以茶の税を減せんと思ふ○五月一日下議定所にて評定せしもアメリカ大政府より書付来り其
状を以て其の穀価の事に付○五月九日ロンドン府にて支那の綿西四十斤の価
れり但し一斤に付ドル弐枚一匁より弐枚二匁迄日本の綿ハ五十斤に付一斤に付
ドル三枚三匁より弐枚三匁五毛迄売れり○茶ハ先き迄税を減せんと之
し税ある事なれは競争なしと思ふ○蚕糸上景甚少し夫レ故競争すくなく
よろし○砂糖直段少く競争よろし○日本の木綿子少しく直段下れり
此外も他の国々に珍事なし依て略せり



慶應元年乙丑閏五月廿六日英の飛脚船入港にて其の新聞を記す

フランス國の部

英の五月廿二日先達国王ヨウロッパの諸方へ旅行せし事より○同月廿四日
パトレードにて新聞ふフランスの政府より伝ふ尔アメリカ内乱大騒擾となりしに依て吸
合する軍卒を多く集めし メキシコ国に押寄る政府の援兵として英の撰抜なり
○然る不合内乱刻しては方より来る所の国王危うしと上議定不より下方
民までに種々なる妨碍き寝食をおしむる程の軍勢来たりデーデーと彼
国大軍勢を指向け亜米利加を攻撃せんとする組居るより彼あり事を知ある時国の
ドハ文代のおゐてに出帆するとも云ふ○パレースのフランスの新聞に右記の存る
他の事実を記し記載ありしがアメリカの兄弟并案書を寛し置し
亜国の浮浪の者ともメキシコの大政府方へ加勢してなも右の者共統軍勢を率ひて
亜米利加へ敵を入とを恐れたりとの風評なり 但しメキシコ国は大政府と国王との二ありて大政府の方
右なりの国王とハ先年フランスに切腹させられて後も従来者とかゝる事も多く住して国中の許もなき
佛の王なりメキシコハ世至て王の王となりしの○五月廿四日ムテトウなる新聞の記載を見るに
合衆国の内乱劇しより亜国双方の軍勢佛の諸港へ入るを防くし日本十二時の所諸
土の強弱先達中国に近傍亜国の戦争をして元のごとく権柄を張すへきと
想像せり

但し此上一般の儀ひとして何国よ戦争ある時何是つもの[illegible]を禁
果方なる国々ありし大乱の軍勢の差[illegible]ある事を[illegible]

## アメリカ國の部

南部の軍ジョンストン北の将軍シャリメンと應接なをし時シャリメンジョンストンに向てアル
ろ者先達て八十の士卒并武具等総て奪取べきるア[illegible]不我政府に於て此[illegible]
如く[illegible]伝る處一戦に及び遂に[illegible]旋を[illegible]将共方よりア[illegible]係りて降参[illegible]
と同時にジョンストンを始として一ぶ[illegible]ある大将ブレケンレジー、ボルカール、パーリー及
び小役士卒等都合二万七千人[illegible]も権威に恐れ[illegible]戦ふて降参するもの
ジョンストンの次役フムプトンを人々ハ大に憤戦発しけて[illegible]に従ふ事を[illegible]
ジョンストンと其連に小商を以て[illegible]なり又一説に南ア[illegible]と[illegible]
を小部役ヘケンベール[illegible]大将コーベースメット其アカバワに於て降り軍勢掛り
老中をヘ[illegible]セコーク[illegible]の将軍ケブビシに降参なを南キャラナイの[illegible]兵捕ふ
りワシントンへ[illegible]其他[illegible]を西送しなる[illegible]を大統[illegible]ある者なし
○北将軍ハレックより南ア一統の[illegible]役并商人とも「[illegible]」に降伏の[illegible]し堅く
多勢[illegible]内[illegible]いす[illegible]と[illegible]未よし[illegible]○ワシントン政府
よりキャナゲイーのミニストルに先達る大統領を殺害をしとの[illegible]

一[illegible]国生地の政府よりア[illegible]し[illegible]ア[illegible]○十一月九日ニューヨーク
アメリカの大陸なりの[illegible]退よりメキシコの役人[illegible]年戦[illegible]
と種々戦[illegible]我国に[illegible]兵[illegible]人[illegible]として
ドル千枚并地面五百八十五万六百四千[illegible]の[illegible]
[illegible]よりて[illegible]準し[illegible]の[illegible]鎖[illegible]八十年を作
き此方より馳集る者候し○同月十七日ニューヨーカの新聞[illegible]同月十日[illegible]の[illegible]
北ア将軍[illegible]リッチニの騎兵隊南ア大統領并[illegible]老中[illegible]掛
け一隊に[illegible]て左右より[illegible]大に[illegible]人[illegible]
取[illegible]南くして[illegible]北ア方[illegible]同士[illegible]
あり[illegible]○南キャライナ内グリンボロークの書状[illegible]スコーフと[illegible]
[illegible]地に[illegible]人[illegible]
[illegible]の[illegible]人と[illegible]
よし[illegible]あり○[illegible]陸軍掛りの老中よりウシーニュー地にスメットを[illegible]
者と召捕[illegible]洋銀二万五千トル[illegible]
なりとか也○[illegible]フランシスよりミニストル役ワシントンへ交代の[illegible]○[illegible]
[illegible]全快を[illegible]下[illegible]底[illegible]細子者を以て常に是を[illegible]

小婦子ヲ遂ニ快方ナリ○アキヤラナイの町ニ於テワシスト云者ワシントンの命ヲ伝テ生捕ル事ア度事柳りの若年者も已ニ但ホヘヘ召捕直ニ軍艦中ヘ送ル

## メキシコ國の部

國王の政府より差出シ當地ニ他ニ入ル大坂ノ如キリヤス方ヘ援兵刑事共若干ニ名定農器ナリ人きる船出シテ○スウーリ二總の船ニテ大坂ノ如キ後ノ戦争子ギヒツト千五百人の変乱争ひとく其月廿九日マヒダムラヘ押寄地役人六官方の者方中黄色ニ入ル一應搭ヨリ殺人とも悉く其ニ及ヒして殺ヲ与へると申ス傷者の内男八分ハ殺ルト云傳ラヒ右ノ十日子ジレツトの兵何国か引取ケリ

## フランス国の部

五月十七日上様定メテ於テ左ニ勤メ者多ク集會アリ先達テ國王の母ニ於テ去ル年事役人在ヨリ歎状ヲ差出キ訴候テ其モ々盛ニ飾リ立テ○系 出来ニ付シ競争ヨリテ係り之の事ヲ書記とも其ミ一ノ○○撰者之奉ル之ヲ戦場之の即ニ及の差出ス之ニ競争ヨリシ其行ヲ知ラルル事ナキ者も出しき事ヨリ

## イギリス國の部

ロンドン府ニ於テ芝居の火ニ数ニ於テ五軒其内人数四万一千一百人ニ及フ大ヨセ四ニ於テ主ニクウイストパルス其外の大ス○此度イギリスヨリアメリカヘ伝信機を送さんとる五本柱の大船ト伝信線ヲ積ミ一ヲ二合ヲ見ん為太子自ら右の大船ヘ行キしと○支那の黒茶ハ一ヨリ之事ニ多事ヨリナシ保買人ハ其事ヲ送リアメリカヘ向ク為ニ写テアリシ○殊ニ来ル者と支那の系ニ於テ之ヲ払ヒ保ル物の気ヲ致シテ於テヨリハ多く事無事ヨリテ○殊もハしく事無事ヨリシ

## ホルトカル国の部

英の五月廿三日暁六ツ時ニ至リ候テ地震あり所々の鐘自ら鳴リ候と義 親セりと云ふ

## アストレー国の部

七国ヨリ多事ニ及ヒハ使節を候し定而ホ諸家ニ於テ候ふ

慶應元乙丑年六月十五日英國の飛脚船入港によりて彼の新聞を訳す

ヲランダ國の部

英の六月八日の風説に國王ルシナと言ふ者へ旅行を兼て女皇后より軍艦を率ゐして三周年の帰国にテ英國に出帆なる（へき様子に付人々の評判まちまち定て
プリンスヲランジー名太子ノ事へ英の王姫を娶るへき縁談を結ぶならんと言ひ
伝へり　一茶法ぶ近る咄に不應なる物か東京茶事のし　一種件
是迄より高き事のなきと人さめき出へ逐て下落せん　一綿近より英へ通
る直数をよろしく日本より産出五枚より五拾四枚位なり

フランス國の部

國王先達てアルジユレーへ着岸せし時是迄人諸方より馳集り或は五或は二百
里よりも出迎ひ殊に右国の礼式を以て種々手厚く容應なしたり○ 未た委く
滞留なりしがイスパニア國の女帝より右の王国村に至りて是迄も委く御在
中より使を以て送りきとも王に於てアルジユレー それ滞留殊の外長くなし加に
辞してかさるよし云なり○五月廿八日アルジユレーの内カンスタンテーナー

地名ナリへ着しさ是地の謀る若干人を招き牧この地を我据に辞す嘆に於
て彼の人ニハかゝるを此の國ニて等諸に及ひ諸才の人ニ交誼を結と共に人性頑
固なりし假令ハ官の若を雑求く蒙昧にて些細の詮割する為しめさる
者なりし是に依て時々些細の生ス國ホの繁栄実に近こあらん飲り[illegible]政務
人ニ案我に変命し生む方の両方をお房み持への者ニ抑留されトて我旅
富ホに候よりの主素なきハ一城の主たる者を生ぜしに政府より我を多高
法をたてゝあらぬ交易将を与ス一致となすなりと述る主ハ此の人と大に然ふ
ん我分し営業を打ちぎてて惑しけり○プリンス、ナポリヨン 郡王ノ従
時伯父の石塚を設る人とせし時いを中る心か述いつおみ中に於と共に帰り
移く新聞我に記載ある故國王是を見大に憤我募し速に出面我扱む
ナポリン、ハ逃て名る其の萬る方の方面生中ハ番に執政職命せ生し上君
新聞我面振の生けるし寄居て年ゞやして此渋田雖保氏なれ乃あと移府と
ハ種々ねるナポリヨンより返書く先おり種の事んで玄にて依是何
無近役たる返出る名にれる亡生た等直振故に湫すなすなりけり

## ヲーストリー國の部

英の六月十日五既カレジヨーク迄ニ於て火附大に拡乃し已ニ四ヶ村にも
焼失に依し国王ハ道根の浪士ともの為業なるらんと人民の動揺ひと容易ならず
取締方ニ於て種々手配なし居る所々に達して召し捕らるゝなるらん

## アメリカ国の部

英の五月二十五日附のニューヨルクの新聞我ニ南アナ大陸船をフヌシレスマニロハ
といふ台場の辺に於いてなれしに及ぶの番をおはしれ厳重に守り居る由
又アルフトロスの新聞我にてハ彼の大陸船ハ重罪にこより是ガセの羅ニ於若
其家内一族の者ハ南アへ送らるるといふ○スツレクテアトー子といふ者ワシシトン
ニ於て南アナ大陸船并にフレケシシレー兎も不和の謀主たる事明白なるよりフレケニ
シーを召捕る由ア出南大陸船を語定なる故出し法役人召捕の者まで
事の次第を吟味なさるとも脈出しなり○フジニアーの国王并ニ其外武人其
捕南アお軍リーと云再ひ召捕んといふ風評あり○同十二日タキシスと
いふ所ニ於て南ア勝兵屯集なし居る事にて北ア軍率ニ遂ひ互ニ傍
を取り数合戦争ニ及ぶとも終ニ備へさたるによりて依て双方ともに引退たり
北の討死兵七十人并手負即死ありし○南ア政府ニ貯ある不和の積の負
数凡六万両余り北お軍ケンベーより奪取たり○ハヾナーニ於て北の軍艦

子テケットの船主南の軍艦ストムヲールへ向てアルヲハ汝の船是非とも此方へ
乗せ呉候様と数々アリ候旨困惑致し敢て返答不致候或日ハバナー
の役人へ向てアルヲハ兼て小ア船主より我軍艦へ乗候旨申出候ニ付
方にてハ彼等の身ハ陸を離れ我本国を持て扱を離れ居る身故此軍艦を之を
許さざれハ其事叶はず彼等へ念を押し置く可く候役人アルヲも尤
援ヲ放候の船を方賞表示しつゝよろしかるへしと辞したれハ船を乞許
まぎらし其後ハ携く次第にて有之候内三ヶ月後ハ由○小大臣ゼヨンストン
出函をもつてアルヲ其外メキスト港ハ未だ南アミ孫党共多く屯集致居
候者其港の外諸港を閉く事きたる船出入り

但し戦争中南アメリカ方城苦めんとする為領港を逃れ不通を一般
平穏になりし故前々之通開港せり

## メキシコ国の部

英の四月十八日国王メキシマリイム並に付務宰相其他役人とも召連レ
政府を発し仏れくにヲリサバー地名に着セし処の士人一同なりたりと喜悦
候○先達て英国より重き書通ありしに付仏帝中宮殿イロニ氏名を
以英国へ使節を出セしと存候に就ては我メキシコ大統領方のミラミス
トル亜国に移り王帝となりし者右の重き書通

あるひハらん○フランス国王よりメキシコへ出セし使節今日着岸す其使節
の説ハミシノニー メキシコ国の内を取ん為に南アメリカ人を引率し居るは恥なりと○
廿日アタムラ地名に於てメキシコ国王の士卒と大統領の士卒と戦争せし処国
王の勢勝利ありしと

## イキリス国の部

六月十日合衆国より差越しミニストル。アタムスより英の政府へ書を以て
以て応接あり其文ハ先年英国と合衆国和親をなし通じ居るに付
互に謀計なく堅く約をなし夫の区域なりし際ひ両国ともに他の
国と戦ありとも他の国へ兵器等を贈ることなかるべしと約せり然るに
当国より我本国へ軍勢を向んとて三年前に当港にてアラバマ船を造り始
し私右船に付処より政府へ申達せしことあり然れ共政府より右船
製造の者に頼み合し事ゆへ然れども暫時にして又逃し右船出来の上武器
積み人を乗せ政府をあざむく体にて港を出帆させ洋中にて至りリッチ
モンド人へ売渡せしゆへ右船我本国通商に来り小船其外の船を焼
しかし甚多し右の如く次第にて当国法に背き且先年の約を
も背けるなりと思ひアラバマ船等国の船を害せしを政府より補ふ

亜墨利加の語なり　とア説あり　英の時勢密事右の次第を聞き船を造
り武器を積み人数を乗せ他国戦争に売込み加勢を遂せし故に甚不
宜事なり保ケ段の事は昔しハシントン名人にても有間敷付当秋
見ホ分明なら往アラバマ船の如し米国の船を補ふ事は我政府
よりあらて其し最我港を出船其出帆いるし他に於し後軍艦
仕立武器を積しる方米政府にて於て取着をし申立着せり

慶応元丑年七月当英の汽船大港より左の新聞紙を得たり

イギリス國の部

英暦六月十日の新聞紙に当国上評定所にて諸役人評議之
上諸外国在留の日本在勤之役人の給金並に今後退役
之者と雖も之を勤功ありしものより其扶持相成事に決定あり
及ひ同所役の人々最早交代に相成候事下組あるへし

一 茶　青茶黒茶とも不底相場也何れも下落相成候
一 生糸　当年は欧羅巴中当に出来高是まで全高も無之
村里も払底なるへし　一 生綿　是品去年ノ八九下位より下落
一 日本産の生蠟を大用にして買手を求めし　一 日本産
の生附子是も近頃向あしく世間に出るも買人少なからし

フランス國の部

一

此國とイスパニヤと是迄既に久しく和睦交易なかりしに近頃是
定約を結ひしより○或日御者中々合せ一統家業をとらず揺たり
しかるに日々是遅りけるまゝ政府に於て日用の便を欠事ありし
是故西の君従堂の者共へ其れらの業を補はしけるに御者多
人数を抱へけるゆゑ先に本業の者共是故大に憤ほりし
己に路傍を塞ぎ通行せる新たな御者へ暴乱をなしければ郷
役を盛にせしかば終に市中を騒ぎ方きり成り是を制伏せ

ヲランダ國の部

六月廿六日此の國の王妃は新英國へ出帆せり○ワタロー 地名ナリ
千八百十二年に於てあるはナポレヲン軍を破し大き勝利を
得たる其戦場なり是れ其地の住人今に至るまで
捷悦びし年を祭るとぞ

己に今年も祝日にあたりしかば市中老若大き喜悦をなし祭
礼を行ふ金銭を費せしと例年に倍したりしは政府に於て前々
是故径に定め当代の王の家に及び人々にてフランスに慶ばしき
務ありしヘレレヨン 名地 をも併に分配せしに因りて大き悦なり

トルコの部

此國元来婦人の男子に大なりしより下賤の者に至るまで男
子をさへ育てしとなし都の女子は是を嫌ひ陸生長せしは併
務以て高價にて賣る事あり或は富家の金を貸し併其
遊興の類を延引せしは陸の女を奪集てあまた戯遊室に売り或は已
欲する所の物あまたも裏中空くして離れたる女子以て
是に代ふる新き悪風の横行せるを既に久しく然るに此近来
世の開けし従ひ是を女子授業と改むるを披除し政府より

ら免をお推かんとに

## アメリカの部

南北戦争業南アに於ては金銀彼會及ひ器具等多く乏しく偶ある亦最高価にして人民の難渋せること実に言ふべくたへざり○チトヌガー 名地 にては北ア政府の倉庫悉く焼滅せ但し其中に家不の器物凡四百万トルを價せる又ナシウエリー 名地 も同日同時焼滅せ但し家作物品の費ひ凡一千万トルになれり然れとも尋常の出来たる札を多分流出せんとの世評なり○南アの出納ゲヒスなる者は大罪ありて○ヘンジヨメンブレケンレジし ツレッムホルン 右三人を出奔に○南ア軍艦船主を将軍リーより書付を以て降伏を請ふ

第十一号

## アメリカの部

英の七月十日の新聞紙に本の国の諸港は当月一日より再ひ開港に及へりと云ふ○海陸軍をあわせて以後五万人の兵を年を減却ふ其つき旨觸出し而てワシントン近傍の台場毎に厳重の番兵を設け添へ古来の通り堅く相守る○附籍掌相軍艦士官へ申達せるには英佛共にワシントン門外に南国官を招き居しかとも総都様佛に於ては戦争の理非をとかり未分南ア或遅滞と称て常に交を隔せしに北アとも古来定約し我々和親を結へり然れとも英国にては未た南ア軍艦の深く親みなく未た分契合えること無き以後を要する英の軍艦を厚き親を結ひて振へきなへしと○ワシントンへ

出張の英国ミニストルへ財務宰相より出面し我国内乱中種々
法懇会を来たし此参り居く係し逆賊の南アへも厚く此扱ひ
を受しが此は世上一般の法律を反りて既に外国にても
今に至りては南ア独党へ交戦隣に成る然れども是はおろ〳〵
遠と為て容れし南ア軍艦は米国の船旗を指揮致し
米国軍年写ある近所とも南アの船と見ゆるなど無用なる
てあれ百た振せ事ある至すへ不振き中に遂しかり○小ア大阪領
より廻状を以て諸方へ触出さしむ近ある史に海港交易
残免さを雑とも武器の賣買は堅く不相成よふとあり

## メキシコの部

古来より税ある買入の仕来りを今より改め税銭を揃へ
き振りに定しかり○己て大阪領事と国王と諸方に於て

会議ありし不遠半年大阪領方致さしとの風聞あり

## イキリス國の部

此国の評定所に出役之勤定をなすを度辞して退役を依願
役人中より謝状を贈りしロール（官名日本のクレムスウフト守に当る）
人何と役に任せる○先達而女帝より右評定に任て
名々月々限りて給し休会になりけり

### 商物

一茶　此節かし流行きて出荷四セトより高値を保ち日本の産
青茶を買入等して近頃ては多くの買を見たし　一生糸　是
品も日本より掛合にて價極高なしれに是に指令ありたし
日本商橋を支那サタより何れも向き流し　一綿　あまり
日本支那の産共に不流に

## フランス國の部

此國の評定所にて今月四日より会議ありし ○エムローヒヤ名人
ヨーケンチヤナ国の政府に出し何とせん應接になりし事
あり是は第二の勅書にて和親を結ひ附佛國へ三ケ国植配
分の事にて定約の如く未し其の役不穏に相成りしと云ふ ○七月
廿六日御帳英國佛蘭西三ケ國定約を結ひけり

第十二号

イキリス國の部

英の七月廿六日の新聞紙に来月九日女帝ゲヨルモ子ー
地名にて瑞西と云ふ其他にて産物を見出し候事共也 一茶
是品を積出し下直にあり 一生絲 其外も相ひ直段よろし
○生糸の事にて此節

アメリカ國の部

七月十三日の新聞紙に巳に北ア大臣領を殺害せし事を以て今
月七日先罪に行はれる ○南部に於て貯ある生絲に公員取扱ひ
五十万斤の事とへ云ふ ○ニユーヨーカのハナムース焼失せし是に海岸にある臨物
を集めたる大いさ ○頃はアメリカより欧羅巴亜細亜の諸所
へ出たる事あり
軍艦数艘数多向け出帆せし様子なり

ヲロシヤ國の部

此國より出て日本帝銀に於て法にコンシエール日本産の蚕種紙を
買入れ之を持て帰りロシア南方にて日本と之を比較せし由、右
の蚕種を試に飼育しみるに能出来て何れとも是を買入送るなど
聞くの新聞紙に許て至極と申送りる

ポンヒアイ國の部

往昔より此地に大なる噴火山あり折しも噴火出して風雅に相成るよし

棒麻なる市街が薩悪く埋れしとて云ひ伝ふ往古近頃或人
井を堀んとて地中へ深く侵入せしれども水を不出して様々の宝物或
は人獣の器械なりて夥しく堀出したるは不思議なりと思ひける[illegible]
其の田楽にて迷ありしか往昔ポムピアイとて云ふ所も噴火山噴
火のとき埋もれたると聞定めし是遂なりと思ひ当りしとなり
於是諸方へ穿り入りしは幸なるかな大分なる形ち有る者に見当
りし故遂の物を取除け奥の方を窺ひて一の女体仏あり直に掘
揚されたる西洋より手足全体なし殊に金眼にて造りたる美麗なる
事にて実に云絶へたりといふ且又三万人斗の死骸或は背跌け或
は仰跌け或はかゝへを抱き居りたる有様あり数ある不思見と
いふ大勢不慮の動地に而其の仏出へ逃込みて右仏いたし一家
逃去んとせしも却て黄泉の客となりたる人少しならずかく

十三号ゟ十七号迄入

新聞紙

慶應元乙丑年十月九日英吉利蒸気船箱館へ入津して[illegible]新
に記せり

## 英国之部

英の九月九日フランス国王元老院の店女帝英吉利国兵乗にて出張して英仏
立合ひ佛国の官吏兵隊を出して招請し其領地諸の如く此女帝
決定せし事実[illegible]彼の年の暮英吉利の事にて英吉
来往還して為先達て[illegible]道程七里しハ兎も如し千八百六
十六年之時ハ里数二万三千一里千八百六千三年二十三てハ五万四千十三
里二成り来り千八百六十七年に至るハ五万二千七百六十五里の里数を信
きて為今日近道を造りたるハ五万七千四百里以来の年より人にに為
近道を為る道程本ヤマトニの組五万七千里余クレイトーサストロニの役
七万四千一里余クレイトーノウトルテニの組五百四里クレーニテオワイストニ
英ニノードウイストロニの組にて十四万七千九百里ロニトニ称ザサワイストロニ

の組にて四万四千里余メルナニの組四百七十二里七分五厘ノードフレテノ組にて
四万九千八里二分五厘ノードイーストロニの組にて千百九十四里余此に通せり
とかや
六十年前なる英国鉄道会社の出入金高を算して　差引残儲高二ヶ年合を
合せ顕す

一 千八百六十二年
　入高九百五十万七十五ハウン　一ハウン二分　洋銀四枚
入用費高四百八十八千八十二ハウン
　差引儲高四百六十四万九千五ハウン

一 千八百六十三年
　入高九百五十九万一千八ハウン
入用費高四百九十八万四千七ハウン
　差引儲高四百二十四万七千五ハウン

一 千八百六十四年
　残る高五百三十二万五千十二ハウン
入用費高五百十二万七千十六ハウン
右の二ヶ年の儲高は五百七十一ハウン差引儲減二万四千六百四十六ハウン
高文減少なりと雖とも一ヶ年平均千八百の儲
金なる物故に諸客荷物等の運送賃且亦賃銀を増せしなり

小なるの如し欧米人は年々景気も能く諸事大に盛んにして盛大なる
国にて五十年已来蒸気車を発明けて各国と其利を分ち大に便利を得る所以なり
費一運送を便利にして彼我の産物を交易し廣く其所の者に信用を得て其財政
遠く及び其益二八風雨雪霜の障なく汽道を設けて其利益莫大にして石炭
物産の輸入の便利を選び得べきにして自由なれば更に国家の富の
基礎なり各其にして往々此等の経済の機関の事を製作するには其の
知ある有徳の人にて其金を蓄へ集めて理解を深くす確に深く勘考し
是皆速に於て後其国を繁盛して政府へ進め政府又其利を宥免を
蒙りて後免許を受け後又金を入れて蒸気の諸物調法なる器械
其の会社の資本に出金する道を付分量を限る所なく募集して出版
新聞紙を作り其中に披露せし後其会社の資本の用意を為す
日時を定め先て出金を以て出張して完成就せる上は八
車輌を運送し免其税銀等の入ハ一ヶ年何万何千と割当て減して

積立て有る銀の分金を調年々是を剽賊にとる事になり故に此の如くなる
大通貨五百万を以て造化せるが故年を越へ前を干して流布損せ
知る所也しなり
あるに又二月ロ跡ラニトニウイ地名にて捨けく上下の女子集合して祷する
事なり其定又此心得にて公卿範の人あり其女子女数万の余有を総て
是て水除を祈へて其債負を免除しとなり其間の鍋和十夫雑あり
しと也や其のうらして終に済ちたる方者には洪ふびの銘を立ましとなり
其附て夜食共し銀を得る所のハロニトニ地名の大商習屋の娘けい女となるが
続く者らぎたる由なり ○又西貨幣有る当ロニトニ近世行所へ申まし
ニハ貨屋煩世ロスロートと云者の家の前に積兒を棄たる者あり其後兒
ホトムヒエムト名を銀免遣し其如や ○又同月ローテヱルス地名に於て又棄
子あり是も前の如くに捨子と称され共も流へられ共も是なり其書
未てハメリアニタルベットとあり附名を代兒を存て育て其日屋き棧にとす

女兒なり尊助するに毎兒共もに育ち如き稼きなり合て給く未文
居に不埒る訳の始末に其名称の為見る開業の如き有をバ中に入置し
重き二奉交を以て置きと鏡き洛夜合の日々西 ○又一て総べしき事ある
十五年已前来年雑も跡の方り云や英国に於て兵ハ千人ケ地名と云に新へ出兵
其附を以たる宮の運用あり右をペレイと云ふに其人運用の是とし又
五矣に上るなり如何様の所々出所諸泳をも以為し注称種廉債
い為せしいニ其附一所て行し人ち続く知る所なりベレイ此人男子の
出兵の運用を成造たるハ英国の八年余年に終て政府にも是を出兵を
てらりと其後兵出兵に属し出たるとなり 又廉価を上る事業に
出世してより出年年を運用し業成に減じ至り其後ハ又マルタア
地名と云所て遠征ましてし 又革命てコルフ地名と云所に於て返役を
有以て一月ロ跡まて是に依て帰りと成る所に知らる小八時程前に於て是
是如や其附に葬られが為に其数兒為西に全く男子にはあらずして女なり

き受容を称ぐしきるてあつゞ其節征仲乱を除き等ノ内テーウ一日
一致ある時ハ又其事を人行の事ニ入ら候事ありて秘密を以て被及候ハ暄嘩の論として有之と之前外
ともかし北の手前ニ存しとなん

阿蘭陀國之部

此之体の為其定前を改免り國主出ぐまて諸死亡たる時ニ王中出る六
先鋒平安穏ふして諸所鑑冒する事識ヨおく信して懐ふ所なりき
経ても延き古ふ拂なる半病變德浮行しては支ぐ萬無りと云て其節ハ
余支なし

ホルトカル國之部

前か幽落主即當之、西暴力建を達打かる處き、凶賊ありるべく等
の人民業事を流し助ける事なきゆゑ衣ふ延引せられたるなし
ヌイスハニヤ王の頃入港を留免とまたる由事ハ無之尊崇るふコワラニテ
ことてハ此ハ花を限ふ諸國ニ隔人構於頃ニ出て沖ニ至まて港内ふ入込らせ彼國ハ入船の中ふ商ニ隔の人系込求る

夜ふ港内よ入津之碇を下し商を禁せしさる也なし

米利堅之部

大頭領ニヨヒストニ人名是迄乱暴之甘年和睦する我の南国の係平ニ向八中
ざるい秘密厨を近隣鬱勤年ふ及び居りと也入学も此般叛徒の入民對
当路ちふ中夜中の委政の等い諸世る有誌所危ふく要所に被居き国
中皆よろ其近其補ニ向たる南北の大頭領近日ナホツレスコヒルーヨ地名ふて景
吟味を遂ぐる筈し其ニ付而い彼我なる者より願書を差出し来たる大統領
将軍リイ人名キミニトニ地名とふ入那の策謀く諸領ふ命をうけ事を知り
八萬王ら北方人ふ手ニ或ふ其處き探極せり諸所ち兵卒を率ひて其處き極めん
ルイニヤ十地タキセース名南北とも両者ふ為年出来せし其節ハ直隊て接近其外種々にて稀
ふして識ニ申聞其りと云ゆめ者と積輸て或りかく残兵ふ強兵ふ而ふあり以

慶応元丑年十月廿八日英吉利新聞ニ云

横浜港　英国之部

英の千八百六十五年十月廿日の新聞ニ掲ル事を載せ申候
スカツトランドヒと云所にて[illegible]小屋を建を網て其ノ蒸気の仕掛ニして
糸を繰る事を数人掛り持ち居より百八十六人の糸を引らせ申候
但し一つの糸ハ長サ五尺五寸也　其の重量ハ日本掛目四十匁より一日ニ
英の十貫目を仕出ル時ハ右[illegible]の糸を引申事能ハず　紡績も後分
ふして此位の糸ハ出来るなり大抵の女給ひて引せるより八貫五百匁
しとなし仕候蒸気を用ふ八右き家を其動蒸気求かりたり其仕の高サ五
大幅壱丈五尺ほとなり大概の積りにして一萬の風ハ入とも居し又住
掛の道具一通を並べて積ニ此仕懸なるもの二[illegible]不及なりしへ入り居申候
是ハ英ニ積りて見ればこの仕掛にして凡六十五の屋かすかに大小の[illegible]位
の糸出る事しかハ一ヶ年ニ拝銀九五萬ニつ一萬銀の利得ニ相成申す

馬玉の内アイレニトー地名なりおゐてフエニ組して関臣ハ強き離れたる侍士の
紫三人あり英の馬玉で益を居て強き性くの事意を為さる所を官吏の聡密
が捕へて斬り斟酌無く斬りて是等の乱妨をなす二凡ハ先穏蓋
ことく斬を徒党又ハ今も戦の跡を絶し内乱止て平穏なる官吏よ
るも一致ふ殺害まて恐さ地なと見る故に英の政府へ申おして吟味を
安ろ掘なりつ　イテアホール地名なりおゐて支那の大男チやき人名にて
妻并児共世話なして[illegible]　チやきハ稀なる大男きたる者ま
另ハ所チやきの方罪[illegible]不為るつ[illegible]今て貨まて留置けり
然ば政府大の強ま人へ移住[illegible]萬國ロンドン地名の近地下ハ石炭ある
由ありて候所多く此三百ロスて見ハ算好るて合衆国を譲せんと欲せ
本所云東子十二月詳説政府各門下を許可の許可り大石山炭
あるふ由知るを知る所の算好るふ向回へレニコニと云所に石炭を
多くあるに有其旅の貨まて聞え近来掘る所しと云也

近年仏蘭西の利果軍艦にて戦争せる度世界中へトルペデヨーを用由
事業みろら張制あきし所爲阿アメリカにてトルペデヨーを発明し之を
路人秘密へ示して軍艦等へ用たるしも伝く数々あり十月仏の
大なる[illegible]を試んと先ふ軍艦奉行より古き大船を
一艘あたへ長壱五十丈のトルペデヨー二ツを仕掛たり　其仕掛ち舟の
底より大人證深さに據トルペデヨーを重くもそエレキテルの氣を通し
せ争り手を受居する所実説の水を巻き挙るが如く青あて
雲水を三四尋計も吹き上げて船震ふと見へけるが頼もて沈没せり
勝ててるとトルペデヨーに二度り仕込けるテリガラフを用ひ一ツハ
樹陸中の如しなる仕掛なりけり　仕掛の事を高ふも大なる客の如き
後の二百三十間を翻りて其船の大小二度見して給間を積て有る
なり先き番艦たる五百五十斤の合薬を害し一番小なるハ
六十八斤を用ひし最大なる砲の長サ九尺ほどより一丈位にて圓の

其職ハ一人なり次ホなるハ其国の長サ三人寄合て依其職之国
外ハ同様なり是等其の職代し　他ニ宿老人ニアメリカ官吏等之
有事を群集致し居りしと也

合衆国之部

フホカワレスマミルーヨに捕われ有しも南部の大頭領赦されて今ハ住
家へ返されたるなり赦ニ趣いたるハ定而ワシントン大頭領の
命なる由し是れハ南部政府の者女子ニ至る迄頭の妻もよけたり
又此節の国ニても人ニて勝負して嫌む者多く有り南部将軍リイ人ニも
赦し致し文を書て北の将軍より書籍を添て大頭領へ出したると也

南亜米利加国之部

南アメリカノ内プレス井ル国ハラクシヤニ国ト当時戦争中なり陸軍兵隊戦
ハプレスイル大に勝ち取りと其兵船軍ニて八死傷も多く有しかりしか

フランス国之部

ハヨナニナ　之不所ニて先王住き兵達抜三人ニてリヒの上識陸軍の上陸而して
舞踊の者へ服の餝を賜りしと也コパレス城下の都ニモチトードスワ
み出しニハ前々風説ありし故全くなりと祝せしハフランス王ニローマ国王の警
固の為に差し置たる兵を追々自分へ引取を定なり是ハローマ国王ニ非
常の用意ありて支度たら故引取なる由し

プルイス国之部

当年の軍艦ニビニタール大砲二十門の船支那なり日本の方へ向ふ若来
極るなり

阿蘭陀国之部

千八百六十六年之政ニ附出入し積り書ニて凡入銀六十四百万プラニ
チー入用高七千四百四十フランニチー　註フランニチーハメキシコ銀の五分一也 フランニチー五枚ハ今ノ洋銀一枚也
一千二百ゴフランニチーハ自国積借金ニて足ニ補置ク也

ホルトガル之部

国王侭てもカルスホを遣し奈即して伊西国へ推行せると見えたる
ことなり

ホロニヤ国之部

近年たま／＼壹之年にして華伍なるさるを何ロスホールに属する名の地
サイトリヨウ国の如きも謀叛を企てんと称せしとなり

イキリス国貿易之部

茶葉は一ヶ月壹貫匁にして千五百万斤　但英斤　なり右多くは支那の茶なり
日本茶不足にして入用は甚多し
生糸直段甚高貴し
木綿七八日前に壹貫目一匁もしに又両三割方なり支那日本の綿は
一年より二年目迄価値なり　但し英斤なり

慶応元丑年十一月六日横浜より英吉利新聞紙翻訳
抜書

英国之部

英の大臣去る十八日死去す久しく老職パアムストンと云ふ人風病より
卒去せしとなり此人は八十四年の間の證を掲げ
右旧家にて大家なりと雖も宰相となりてより権器を執り
西洋目も驚きにして人民多くなつき上下和睦せる事殊に大なり
作信撰をなし事をなしたるを国中に知らしめしに出衆に高名なりと
誠備して其業を研究して之を開きて静なる事恰も暗夜の如し井エドウ
手際の女王且つ名高きセ二三七人をハラスニ尽したり英の諸官吏大いに驚嘆せしとぞ

フランス国之部

此方識ハルスと云ふ所にてコレラ病大に流行して甚しく国中へ
国王自ら病院を巡検して自ら病人を保護せしとなり政府への
文を見るに諸国の役人官吏力にてスタニテノホロと云所に接す

流行せしハコロリ病ニ候處も厳寒なる北風ある故土の熱気なりしやと
其生の后今葉の平衣の大名婦人の作ハ梅毒を発しやゝや其席ハ
路傍迄も梅毒をあらハしたることなり

オランダ国王之部

此国之新王ハ先年蔵の変代ある処英風ヲ蔑なり　又日本之所製造
したるを取卸しの次ひあらし処なり

合衆国之部

当時の副頭領ヒテーブと共ニ大統ホムフレヱニ於ても右国の大頭領ハアトム
寄先の云也あるて政をきかる処なり　ロフホーウレスマニロー之新より東海
茂の産場の当黒人政事共を改国致しも為せし由なり　○又国のキヤラ
イナ之者共と集会して発足次第ハスレーフと云事ハ一切候とふるを
決断ありて注候せるニスレーフハ黒利堅之者共を黒人之奉公させる
事ニて候処北部之がし東国米利堅合衆ハ是を分離しかりたり皆云

当前ノウイセ之所ニて大火ありて其内ニ三千余の箇屋敷の傳を焼失ニ
なり并ニ上ヽ船之荷船ニヨーリニト之新を出帆して四千五百洋程の錦を積
込たるを被取せし処なり　水主其外もハツテーラニ乎上陸して致傳
ち焼り候処なり

イキリス英国之部

一　英国へ参ル船之者ヲ支那ニて諸事取計ひたり保吉等ち
一　大国ハ日本国并一件ニ付之保長官を始今取扱役迄其中なり
一　生糸支那日本ニても上京ニ使ニして大国も流行し
一　本條一件ニ付候保一船一船も本茶商船下着して而已る也

千八百五十五年十月五日英吉利政府より触書をもつて布告せし

摘要　英吉利之部

英の十月十日の新聞紙に記載せしには 魯西亜の大老ハアムストル卒去せしに
依て是迄内務宰相なる勤めきたるロスローナ大老職に改りきたり
キラニエトニト云ふ人内務宰相に上りきたり ゲラチーベレと云ふ
宰相は海軍役を勤め居ける者なり ロギラリストレと云ふ人は是より
先の評定所の長を勤めきたり 是より上の老中なりて八下の評定
所の長は決して其やらに出て役るに海軍上下の評定所を勤むる者ふ
参りて勤る事なる由
按するに上の評定所は日本大名か評定
所、下の評定所は御旗本か評定なり
大老ハアムストルの葬式ありて すウエストミンストルアベーと云所に埋葬あり 十月廿七日の事
且又該国の人ても大勢見物して賑々敷葬式の由なり

フランス国之部

仏蘭西の属国アラチヤと云所を攻て其本国王書簡を自らの指揮を認め

おこしたる由なり 其後アラチヤ国にてスラーしと云ふ者内乱を企てダニエニヤ
アと云所を攻取り 騎兵二千人歩兵千四百人程を騒動起したる由なり 其時歩兵は騒乱
起りておこしたる由なり 仏蘭風説あり 兵卒其外大将の将軍勢揃
おこしたる由 其後其両人討死したるなり 其後の戦ありし 仏蘭騎兵は
歩兵とともに追捕いたるとなり 又其後右カロナルトと云ふ所の人等戦
辛うして戦を探索致したるよしなり

オロミヤ国之部

アニヤの王とおのれを勤めたる時貞なりも 風説あるよしを聞たると あぐ
とおしとなり 来春早く国の中一千人より四人の宰相政府へ呼あげて
お勤きなり 但し口頭の様にして軍卒を用意致し 当年の内其役の筆
きふる由見えたりとあり
船を造りたる勢四十艘ばかりと加や

亜利堅之部

本月の初のトリスデイ 毎年十一月メニアリリニデイより云ふお日なり 新暦と云ふ日なると

殊ニ日を極めたり○大頭領の意なし八年迄に其定役の入札ハ黒人こぞ
れ論せざる事を改むるに一旦に入札済ぞれハ年ぎるる百姓を
定めて近くの札論ぞせ居きとあり○大略ゲラニドウヰリ書面を読
政府ヘトあせしにハ今く稼方の筆筆の言ハ七百六十人減けれ而
年うる所し彼ぞれハ新製を減せ事ぞ成しとなり○ニウヨウー
カにおゐてアイリミ合衆国と云ふ保定所出来しメ利坚左辰のアイ
リミ黒人ハ余多集りたるぞなり植せるて和もイギリス隠も旅歩
独立せる意なきて於きより来り集る論せし人

西印度國之部

イギリス属国にてジメカケト云論て黒人ども乱妨を企て戦争を巧（メリケニより三十里東へ寄りたる　諸にもイスパニヤ英メリケニ属国也）
みしをキウバアと云ふ所ヘもきたるコニミユル米利坚のハヽ八本と云ふ
所ヘテリカラつを破りこ西を降せしとかや依而英國左営し軍艦を行
軍兵を渡わしジメカケに出帆論せしとなり

英吉[illegible]之形

一 英支那の方上京なし日本も近頃あらし是をの用意ハし
一 生糸并絹絲上品の用なりし支那も之事と云る由なり
一 錦ハ西服ト称して必用なり

於慶應元乙丑年十二月十三日英国之出島商館より写し候へ共
新聞之訳し

## 十七號　英国之部

西洋千八百六十五年十月七日の新聞紙に記載しハ　イスハニヤ国　事
メリカ之内チリヤ国との戦にて金子支払を勧めて許容無く大事へ
及ぶ旨云々申して云く我国之内の事へ多くチリヤ国へ加担致し
当然に右謀に有りと申ても当方戦争に及びてハ我ら兵船に徴し障りをなす
故に是れ此度に難渋し致しきもの也　西国組頭数艘の兵船を以て
戦争をし居たる所右の対陣有様を伝へてイスハニヤ国マトラアスと云ふ
提督ら同剋に至りたる由なり　マトラアスに於て書面之趣承知
但し此儀を往来すや噂候なり　イスハニヤ　チリヤ国へ来りし二ヽ
ストルテ三隻にて国王へ申立テハ以後我軍艦を率ひチリヤ国境
にて船留めし又ハ我西洋之者ニ逆ひたしことなる旨申立ふ

## フランス国之部

今日迄の上に出精多くして陸軍兵士十万六千人ニ減せし事の
由なり右を知れバ右ハ其軍兵を年々の費用を大に省き先年五万フランクと成
来る理に見へ候然るに條約ハ多くの人の存意ハハワレクタルナリ然レバ八千の
兵ハウエトヘ入用にして右を五万ハウエの減少なく故に隊の減少なる故に倚らて
て由来や諸事の減少あれハ多くの人々の力を減し　て兵事の方ハ益なく
政府仕方ハよく訳しきなり　陸軍組立ても雑費入用を減せる様極めて
咄今其中へ合千なる人へ陸軍の事を為したる其事の方兵を要するの人を少くる様極め
メデトリ之他右之地へ来て出たる若千の軍艦を設け軍艦に移て致ス
積りなり○バレスとあって余多くの商人集会して云く イスパニヤ
と千リヤ共戦争ニ付テ千リヤ国へ在る船舶を不残差出したるを難渋の故を告げ王に
書面以て訴へ出したるハ我国を救ひ和睦を結ぶことを乞ひしとなり然れハ
訴へてハトレヤニ居る　日本政府と共同し唯今陸軍兵をフランス

国ニ法を用ひることを知らせしなり○今度政府の評議にてハマテネー
コトの文面を出しテハ陸軍ヴーアーム千三百廿人へマレエとエとフワエトレー
と云ふ役を勤めて居る其の外ヴーアーム五十八百人の兵隊人数を充たす
二千ちん　此者五千百五十人余更なりとて一命や

## アストリヤ国之部

我国の兵隊政府へ願ひ出して難渋にて統き刻出せしハ日本国にて貿易して外国
在留せし二人の條約を請ふも之に右同様の條約を世話する約定に
未だ宜敷決定なりしとて右等の事を何軍二十五九百余も貿易を
出来ぬ様に致し置き候由なり

## イスパニヤ国之部

政府ニて出せし二百千リヤ国と交易和義談判のため先何の為に存
交契バ果敢なりて居き既ニ結びしなり○イタリヤ国と永世と為列
貿易し宜敷ニて成び居ることなり

## 合衆国之部

北亜墨利加洲ニおゐて メキシコ [illegible] の堺 [illegible] の説ニ
ある時報知ありの 将軍ゲネラール と云人ハ チリヤ国へミニストル
[illegible] 行く [illegible] なり 然れ チリヤ国ら [illegible] 一旦イスパニヤ
[illegible] 行を [illegible] 事なりの 二ヶ月ヨリかの 奉行其外人数 [illegible] 見せ
之の事の国を破る [illegible] の総領 [illegible] を見あるて [illegible]
極々なりのハ [illegible] 来て [illegible] イキリスのコロニーユル [illegible] の
戦の時 [illegible] へ [illegible] を [illegible] 所へ [illegible] ものあり

## 英吉利之部

一 [illegible] 支那日本 [illegible] 入有し
一 [illegible] 続く [illegible] 日本も [illegible] なり
一 [illegible] 日本 [illegible]
一 [illegible]

第十八号
海外新聞

四月十七日イギリス国の飛脚船当港に入しよりて左の新聞
を得たり

イギリス国の部

四月十日（我二月廿五日）にアメリカ国の商人ピーボルトといふ人ロン
ドン市中の貧しき人民に洋銀五十万元を施しぬ
りし其志されを羨むに此人ハ永くこの地にありて廣く商
買なし如く篤志を称ふしけなく都ても人手厚にしく
ちんとの心より出しを知りとうやかるの為ちまち女王の
手ゟ進し深く其志を感じ時簡の筆れを以て厚く礼
を述へ且其儀を接せんとせしに元来アメリカの国風と志
て他国の貴位を望むことを知らぬ故に唯の肖像を

名づけて六月廿八日謝礼のしるしとなさんとて いひおくりし
とぞ。ビーボルト王命をもてありかたくおもひ王様へとゞめを
請まをさんとぞおもひける○其の新聞紙ニしるさきたる
よし此ほの流行病甚しく其地にてはより医者をはし
て其の病の者これを療治さし先をもて勇をあらはし
たる事なりて、減したるとぞや○其新聞紙にはゼルマニー
国 プロイス及びオーストリア なるを強て以て の事論以てかくおもはせて、ゼル国
て南国ともに互に勢ひをもてあらそひしに此時ハかりて
我のもとで拝ぞ及ぶあらん 右のものみえにつきイタリヤ国王
よりプロイス国王へ加勢あらせんと約をしもしものはエラ
バトチス 名を改てプロイス国の首となし。ヒニシヤ 名を改と

りて我のもとになさんまてハ兵力をあつめたる志しなくして 様子
をとぞいひおくれりとふ事○ 新聞紙イタリヤ国プロイスオーストリア国と盟約ありと見当
○フランス国王のやうすをこの新聞に見るに諸友國へ向ても
同じやうに附勢をハなさゞる事を以て枚ほどにかて居
きどりて事をきかれハ只このむべきをつくらひ人を欺くの
らんて其内ハ兵を及ぼすあらんとく戦ひ居ちりき
なハ雪と空霜と軍備をなき時やるとてもなくるや
うちて居て曲りたる

支那の事

葉 壹貫五百匁余の價ルかしく候ありつ 糸 其の新
当とこれらなし 綿 きんけるつきに二分五厘ルもの也

フランス国の部

ゼルマニーにて戦ひある事起らんとするよしにてパリスの人気和の何ふべきなかりしが何とも帝王の令を早くせんと待居たり是非なくしてやむ事なし

フロイス国の部

オーストリア国よりプロイス国へいひ初めしは此比其国の兵士を募る事甚しく軍勢を多く調へあつめんとすを戦の設を為ましけるにあらざるとすなれば人心の動揺する所なるかなまさに然らんとすと相答へしといひしものは あらかじめいひて曰く今戦を始めんとして其用意をなすは我が国の為に備へさへすれば先に其国にて軍兵を集めんと



を打ちたて我より三と目の横のしるしを定めたるよしにて其事にいたるあり戦の用意なすべしといひてついに其事を廃せしめて我国にても此事は済し事を能はずとて

テ子ミー国の部

政府より評議所へ出せし書面をみるに此度日本と交和の両国と新たに条約を結ぶべき見込にて大小の軍艦二艘をしるし使節をさし遣さんとす依て其の中より先づ為替の銀二十万二千元を出さんとす紙幣を以て是より評議所に於て衆議あり 其一人の説に曰く 英吉利国にて一艘を出さんとして彼の国と条約を結びしことあり然るに此例に倣ひ 我国にても只一艘をいれるにしても足るべし

てホルランド国の軍艦の便りを請ひあげして供奉なさ
しつめられしかど共に費をおぶきて難利ありんと
又ある人の説にも当事費ハともかくも　今ハ旗本者共
銘々なかりぬきハ二軍艦をつのらせを出し一のみんな
ど府殿にまかせられ主をもべして　二所者のりき出しぬ故
にまた多く日本に入きれまたしるうりしに　四十八と四十二と
四種ひの両説の札入りしうりしに其四十八枚の一説ある金
高さ十二万二千元に減少ありして　翌年を出さんとの一説
ま閉く定りうりしに又去年の老中の方にて以よにイヨ
ウロツパに於あて追東多ひ起りて其上様なれざるハ先
当年ハさし出さあることを出しぬうんと○オーストリア国

またも東国に使節を出さんと要くるうりし匠
ありしを昼京に止しあり

アメリカ国の部

大統領チヤルストンより書を以て諸国へ留守にして和国
とまそバ内乱ありしかども方今に以うりてハ要を治
り御主意なし　是れにて隣国なし　頼きよと
○当国の時勝軍和ハメキシコ国の大統領と奥牙をワシン
トンに於て算定銀無あきしとぞ○政府に借財
二統浮銀の太あるに以うりて志と云や○大将軍グラントー
近日にヨウロツパに赴くに由て軍艦方にて一艘を
擬して手用意をなしあり

## 南アメリカの部

チリーとイスパニヤとの戦争ハ今に絶ずして互に力をつくし居るなり

## オロシヤ国の部

政府にてその論に小銃ハ元込の施条砲よりよきものハなし
兵卒ハ必ずしも是を用ゆるにしかざる事とし政府に
三所の製造所あり毎一所にて一周に千銃許を
製造しあまた是を最程多くありとぞ



## アメリカの史略

夫アメリカ洲ハ凡三百七八十年以前にキリストフエヤ　コロン
ボスと云者の始て見出せしよりその人之を発き昇と
ならびなきの又西国と云ふ事あり昔時の人の見出せしより
ら頼て移住の者ありて若干所に住居をなしし今に至
そのままに一大文明国となりたり異なる人種のこりつゝおるなり
ありさまハ至る処愚なる無智をなりしを其コロンボスと云人ハ
千四百三十五年（我永享七年なり）にイタリヤ国のチノワと云ところに
生れ幼き時より書籍を読むことを好しが家貧しくてはその志にまか
せかたく十四歳の頃より航海を以て家業となし航海の
道を解するに至りその最も好むところハ広く諸

西を経廻りし人の紀行なりしが幼より外国を見まほしく
望居たりしが其後成長なるにおよびて船の免をうけ船に乗
りて我得て先年一にメデタリニーン海を航まはりて戦始まりより
其後ベニシアンとマホメテアンとの戦に水軍にやとはれ戦
中に其敵織に捕へられ船あやうかりしに水中に飛入辛
じて身をのがれたり○此人元来心大にしてかのメリトン
ニシーなどの航海はいさぎよしとせずして大洋を航せんと志
且其の人のいまだ知らざる国を探り求る事に以でり
すでに常に全く居たりしがいまだ此時はヨーロッパの舟人も
誰しも海外に国あるをしらざる多く知りとも恐をなして
航海するものはあらじインデヤと貿易をなし居たりとも遠き
陸地を経来るそのまゝにて舟をば用ひざりし　後つゞく

## 開闢のはなし

そもそも世界の始りを語る書は人の神より命を受て書述し者にて
其名をモーゼスといふ其書に志るしたる所によれば神は天と地と
を創造なしたまふ其地は空にして形もなく又其内に一
の物とてもなく空虚にて一塊物にしてそこは暗黒なりき然
るに神声を揚て明なるべしとのたまひしかバ即光り生じたり
之を昼 大陽之 再び声を発せしものハ忽水生じ流きて一とまとまるあ
つまりし所是を海といひ大洋といふ然して乾きたる土地を
あらはし出せし菓の植物に生気を与て萌出しめ天にハ数
多の星をあらはし光を地に授け又其為に昼と夜とを分ち
られたる星々も大なる光りを推しその二つを造りたまふ　月日星

まて四時と日月年との分ちをあしけらう又水中ニハ鱗を
持ち生き物を生ぜし先て空に飛ぶある空中ニハ羽を以て
飛び翔る其好き類ひて鳴き鳴るものを生き地ニハ獣を
外種々の生あるものを造りて如此種々のものの作りお
はりて後まて何ぞできたりしを喜び始て心を安ぜ是より自
らの肺に肖て人を造り是男女を分て生きを与へこの世中
の魚虫中の鳥獣地上の動物などのものを預て治らしめ
すべて有るはる是等を造りし最後の日ぎりして既る
あたりて後ぜし先てやまるる所にて安息より千休日
を名づけて安息日とは云ふ

つゞく

引札之部

英種氏を求むと要ある諸君ハ
運上所の編み才二十七番を問給へ
若し於合あき所ハ詭を給ハ宜速
会あり取るきて以る　アレン謹啓

病の治療を受もと望む
人々ハ安政九ツ時より七時
まで第百八番まで以て給え
バダール啓

長崎ニ在ハワーラス組横浜ニてハワーラスホール組我等ハアメリカ国
の商人にて日本開港以来店をつらねて日本の品物買入き
又船来の品も売る若し帆船蒸気船も他蒸気船の番蔵
及び軍用の諸器と日用の器物など詭あき諸君にハ来り
給へ無遠慮ニハ外国より取よせて為与へ我等の居二軒ハ
日本政府及び大明つけ町人江戸大坂の町人にも居る住宅
に海岸第二番なり
ホール謹啓

第十九号
海外新聞

慶應二年五月十二日イキリス國の飛脚船入港せしによりて新聞
を得たり

イキリス國の新聞

四月廿七日日本三月十二日の新聞に曰く去頃の新聞にハプロイス國とオースト
リア國と大に戦争を始めんとする形勢なりしがオーストリア國よりプロイ
ス國え書を送りミニストル引て去りしの裁判ありと○此國
政府より書簡をおくりてよろしのタイムスと名つくる新聞紙に時勢
年来の論にオーストリア國のミニストルハ陸軍プロイス國を引と
りしとありしを明白見能く紀せしは如くのぬきをとるし
何人も廣解をつくり時勢年来の事をわせ書役の多を
もちしてタイムスの新聞紙屋へ掛合ひして兼而商人の多を

となるらんか又ハいかづちの虎乃威あるしをなるらんかはかりなし
交易を互にたる事なし双方の交誼を保つに双方とも戦の用
意ハ無くてより険きさせをとなりけり全く事戦の金なきと
いふなれバあながちには話商買には大なる響くありと ○ロンドン
市中の豪家の人にてありしピーバルド 此国英国のアメリカ商人にて ロンドン市人の貧人に金を施したる
論ずる所にて此頃は我国の貧人を恵まんと志を寄せ書
礼の為に招待ありて一杯を呈せんと都を離れて近く帰
るをおもひしにあまたの都会の民そぞろに宴をとなへて迎へたりと
事迄いはまく志ありて貧くなきは天下のはかりしれずと思ひ同志
旧国の日本に迫りし処心あしけれはまた命をもたらんとするのひとつのこゝろを
まゝ聞し事

菜 うまくうつりてよろしと之をあつかふも価高しく
よろし日本菜ハ支那のものと同し 綿 支那のものも一たゝ
ろつき二百文にてよろしく 生糸 買人多くあり然し価
をなの通り乏しく此者ハヨーロッパの蚕飯虫やくきと悪しく
なるなどの為ハ然しいまは時季きたるとしこの如くを
ハ絹のかし支那に米ハ多く売買あり日本米ハ諸出
あまりとも多くハ米あしき故うきに悪し然し支那の
極上ハ売買あり

オロシヤ国の部

此国の帝遊ひの為見る事にて出んとする時はいつもの如
く見物人多く群り居ける帝ハ何心なく車に上らん

ところと云見物人の内一人窮こ二連発の短筒を以てゆかしに
已る殺さんとせるとき其者の後に居り合せし一人の男ある
その者ありさまを見て其砲を持ちしものゝ腕をつきし
故筒口上を向き弾丸空中に飛く其中にも其弾を穿
や居るの役人其ものを直ちに捕へ已に殺さんとせし
時にて痛くたゝきけり帝命して之を牢中に押込ましめ
帝は其すこし疵ひにもあらざりし其罪を帝赦后は多く
の諸役人を従へ其所に行て其不思議に命のたすかりし祝
静に諸志帝其時京人に向て以前に服せし国中の人帝為
めに祈り居る所は無事なりしと○其賊は此すこし罰を礼
明きされしとも其思なる賊人は早速日こへあつて大明にと里

為てたまはり此ものは元来西国の産なれど外国より織
業を習はんとて来り帽子を作りて活計とし且権正直なれ
る人物にて年は廿五歳なり任官してコメセロフと以み名なる
ものなりしなり○将軍モレバーフと云人は始賊のおすをて
また帝を害せんとせしと以みを執し此時の役を命ぜら
れたり

アメリカの話

評定所にて都合評定ありて其事に移りて大統領は執政を
しに大統領は之を弾劾せんと返されしに依て再び評議の上
入札になりしところ三十三と十五百廿二と四十二と札入りしにより多と
以大統領は国務を遠ざけて弾劾なれども右の入札にて大統領

の印ハなくとも其國法となれり宗旨に着し大臣領之に而
を押すを敢さざるときハ不拘上大臣令の位を去らしむ
ることと○アラバマ州の州都シーメスを大臣令より命ありし
僅の者許されより○キヤリホーナイ一名流国のまく其政府に於
出しよメキシコ國の教ハ国王を立る事を盛やかし其権と

メキシコ国之部

二千八百六十四年二月の新聞にメキシコといふ國は大なるものなり
都りて横く境にて其数をしるすハ凡三十万ドルラル損をし
人ハ百人余りとぞ○アメリカの人此国のソノラといふところを
僅しと思ひしとぞ此国の事ハ如何なる事か其実を知らざれ
ゼルマニー国の教

プロイス国よりオーストリア国に使者以て書翰を贈りしハ変
国より以ひ初めハ思しを渡すざるまあらざる時しとも其兵の
まて第一の軍勢をあつめしよう我方にも軍備を為せし
あり其国にて先つ出るのハ旗本我と同しくや先むひとアー
ストリアにて着しよ其軍勢の減しうるハ此論の起らざるまあり
の方にて以する其軍勢の減しうるハ此論の起らざるまあり
しがは減し今月出るよりも減ちらるを為さんオー
ストリアの方にて以する出るをなさんよりもなるゝ所もよりせんと
○オーストリア国より右の数ののみロンドンとパリスとに以ひ初めより
しるハ其近くのこそもの種出でしきをなすと○此国の人民変
よりあつまりて五十以する此国のを我を為さの理にあらん

使して戦を[illegible]んと何れも戦を甚だ恐るゝやうすもあり

オーストリア国の部

ビヤナーといふ都の新聞にイギリス国の女王より此国のミニストルへ
書翰を贈られし由此国のプロイス国との談合は恐らくはよろしからず
[illegible]ありと

南アメリカ国部

テレガラフにて云ひ越すにチレー国の陸軍凡三万五千人計り
集りし並に海軍はイスパニア国の軍船を多く捕へたると
手紙にて云ひ来れり

フランス国の部

武器并に此国の政府の防備を[illegible]チヨルテ子ーの軍備を
依りて関係する理并びに[illegible]ひろく[illegible]を牽制あり
難し此国の習ひとして兼て大なる件にあるときは[illegible]
を計ぞその根本まではよく[illegible]穏便にさるやう
[illegible]兼て我方にて今後も
といふべきは却て事を募るともなかれん○此氏[illegible]の
法度を厳しくなし[illegible]を要して[illegible]の法を備へし

世界開闢のあらまし其の二

人間初めの世界はアダムといひしとの世界開闢よし
て凡の六千年を過ぎて此なるを出来て此をハゼ子セ
ズと云ふ[illegible]その人の
[illegible]十五と云

今命て船を造らしめ是に乗て免れしめて後大雨を降
しノアの外ハ悉く洪水にて溺死せしめたり雨やみて後ノア此
船を出しときハ其子和ハ各子一の猶となく生まるものとてハ此
ノアを及舟ちのものの子なりき此人三人の子ありこセム〇ハ
ム一〇ジヤヘウトなり其のものゝ此の子孫を捜しける九二万年
を過ぎて子孫イフレトーと云者あり川の辺りのシヤマーと云
ところに町をたてゝ或ハ楼閣の高きものを天まで達すへく
築かせんとして始めしかバ神之を見て其高きを憎み
言ハ出でけれバ其人の言を乱して通ぜざらしむ故に
各々言語を異にし散じて八方に散りたりハノアの子セムハアジヤの東
コリハームハアフリカに行りジヤペテハ西に赴きヨーロツパを開きしと
云へし

アメリカ史略巻之二

古時は商人などの如きは東のインドへ行くに海路を
取りたるべき説ありし中にハ名高きアフリカの南岐を
廻りたりハ海路あらんと思ひしもの有りコロンボスと云ふ者あり
此者ハ元来才ある人にて地理や天文を学び殊に算術ハ凡
そのものと異にして能くせしかハ此事の西に地ありて
はつかなりとせば今て東のインドよりも西の方より廻るも
仮へ西方へ廻て新地に行くときは早く達すへきあらんと此を
試みんと欲すれ莫大の金あらでハ術なしとて王に願ふを
始へき器量のものもなく広くきのみなるは
免ぜられて先ず一のゼノワと云ふところのセネター一と云ふに一時

ときりて其説をのべ葡萄ポルトガルの国王に説き又イスパニアの国
王と女王とに説きしに其年イスパニア王ハ熱心ありて其説
を守りて[?]しに帆をつのりて思ひをなして[?]ハ[?]入費
を貯ざりし時コロンボスハ大に心を落さず第一の人の
同意と力を合せ一人をイギリスの国王に献ぜんとて
書を持せて差つかハしてが西海にて[?]ひれずしてあり
ありけり
　　　　　　　　　つゞく

引札之部

某種類を求むと雖ども請者ある
處上所の編寫す方二十七番を問はる
べし持合あるなら號を換ふ[?]速
かにより及ぶ[?]　アレン謹啓

病の治療を求むと雖ども
人々ハ每度九ツ時より七時
迄に第百八番をとひ給へ
　　　　　バタール啓

某儀今般ハワーレス並にハワーレス事ール組　我国ハアメリカ國
の商人にて日本開港以来ニ店をつかさどりて日本の物も買入れき
又舶来の品々を賣り并し帆船並に蒸氣船を作り並に蒸氣の器械
及び軍用の諸器と日用の器物などを販る諸店ハ來り
給ふ遠方なるハ知らせを待ちて[?]我国の店ハ二軒ハ
日本政府及び大阪の中へ江戸の[?]の所へ居ます住宅
は[?]第二番なり
　　　　　　ホール謹啓

大島を眺て此方ハ八丈島に至所持之双子書ニ見えたる方角ニて
仕付たり之ハ最前の骨弐ツ象牙蝋石之造り玉ふ乳を我とに寄セ
上まつる造り之品持参致しつや南ど是迄の産ニ異なれバ 辛一番
八丈ノ一．謹白

アメリカの商人オールマンブラウン殿ハ南地并風土を乗一覧をめし再ひ是
事船艦の形状并に大小砲玉薬衣服器械之類迄詳ニ記して奉献いたし
ライキレーももと此所持参の處に保存ありて余るなど製造あり
新しき品ハ之あを造り其外ともとの支配有知して御覧あるべき品と
ありしに更に又御金にて是又見本品を買入れハ此等を寄て相納
て此方ハ此段を申上候
六千七百 オールマンブラウン

慶応二年五月廿七日 西洋の五月十七日なり 佛蘭西飛脚船入津ありて

此新聞を得たり

日本四月三日ゟ部

イギリス國の部

此忠評定所ニ於かく宗教の新法のことを再度議んでのちに

定めたる中止となり○支那日本の方へ来りしてたる役人の隠居令

速に定まりたるものなり○之月十日ロンドンの町ふ於てもナポラン

ゴウ子組と云大ひなる商人の戸を閉たる故に町中大ふさわぎ

有名なる商人の内へ駈参して金を取りて行さの多しと申すると

イギリスノ両替屋と名高き内より出し金子請取る大九

弐千百万トルラルニ及ぶの内ふ出せしなり是にてつく金子と云の

如くつなる事議定ありし故政府より右の政府にて通用の金銀を
其ノ保しおきたるものなり此札を多く持は通用銀と分ちたる○
其の大坂の商人戸を主としてモートンピトン大なる請負人
アたしたる事にて後にイギリスのジョイントウストクと云商館ある
インピイリヤと又カモシヨロ此云商館にてテ子ツネヨワイキヘール等ある
妻く戸を主としたる事なるべく其要のある其悪資借貸
到しこの通用なり

本邦の事

蒸気ての船　弗　ドル　生糸　此節ロハるべき
主家の外るる所は其の形次と替るるなし

フランスの部

此国の国王チノヤリと云所にて何ぞ行ふ所あるにて江の
る事多く此事中に陸軍の修錬場ありて其なる事あり
○ジヨルモ子ヤ国の乱ありて此節城下のみ大ニ地なく諸方に
重役主官新と志つきんとの事ありて接戦あり○メキシユより
此港の港センナゼリイト飛脚船入港ありて是より積来りし金の
高九十六万ドル弗の政府へ差越来れたり○此度此国より
国王へ日本大君より書翰をおくりし事のよし

フロイス国の部

此国の政府にて此度大に軍の用意致し居たりしと云ふ

ヲーストリアと當て書籍の名も有り○此国よりはハイドル
と云国とはんぐと云ふ諸方に軍の用に出る名合あり
○此国の風俗をヲロシヤの國王も都に起するをナグメントなら
新なり

オストリア國の部

此国にも力くるものや軍勢をとり扱たしプロイス国との境まで
新しく相撲なり○此國より外国へ軍勢或ハ兵粮など
するも一切の出所れるなり○此国の人民はさきよくして
解術縫しきくらべ政府の力をとらへるなり○諸大名
或ハ大金持なとは此者らを寫張宮殿に外て持運ぶ
ものなり

ヲロシヤの部

名ともに今日に[illegible]此国の[illegible]の[illegible]にて此にのなりける[illegible]

此国にかゝくさとともや軍勢をそろへたゞプロイス国との境まで
詰し招し預なり○此国より外国へ軍器或は兵粮なとは禁じ
すること一切不承知の由触れるなり○此国の人民はさきまして
陸術縦しきくらへ政府へ力をつくすなり○諸大名
或は大金持なとは此者揃て皇族家統へ外ては拙筆
なしなり

ヲロシヤの部

ヲーストリアと書して書籍の名となりり　○此国よりもハイバル
と云国とくんぜ云ふ諸方の軍の用立ぬ人の石會あり
○此国の風俗をチロニヤの國王も都鄙起するをナダメントなり

此国の都ゴチカウフト云所フロイス國へ二ぎりしも都
ありぬ諸々オーストリア國と戦争及び此國王ハ我国ハ
其國の加勢致さそのえすなり都是も風俗にて此のことは
都しその戦此ふにかすなり

和蘭陀の部

此度の戦此事つになし

イタリヤ国の部

此国政府より江出るてビニエヤト云所のよ此なりきなり
ては此の云議と解するに法る分れる事なりえ
各とまる今る存るとまみ此籍其事りの様ねそ此にの先有るすお

あり〳〵やまりのみなり○右程けふなれど軍艦僅從
設し居たりて内に至千八百四年寧人のそのたハ其各の海の
そのたから撰て集め軍兵ハとも不加勢にいづれ精強なり宮
其軍艦ハウレースタと云内海の口まで乞ゝいたりし会ゝ結ある
ようしなり

メリケンの部

評定所におゐて此國の國体こまきし箇條を改革したる
精強なり○右更の大棟梁（たハとうとたちの事なり役名なり）の妻北ゝ大棟梁の
惜ら伝え夫婦同所に居る事を許されたり○ニユーヨカ坐
ニケ所の大たる商売なる處を去りしよし甚外にヂヨンスロース
と云人同し取引まくきなりながら致せしが凡三拾万ドル程を

扱ひ正銀とすり指揮迹したるこそのありしやなり

南アメリカの部

此國バラパライソと云港におゐてイスパニヤ國の軍艦此港を利不
居ふ港掛ひし跡なり此事ふハそより軍用此備ひ為し揃置付
アメリカミニストル并ふイギリスミニストルの外商人は軍艦より
来てイスパニヤの軍艦より右会ふ此港まて軍備聊も無く此
揃而より外港と遊ひ欲示誘し為揃集意ア為し大まる子此
以後しそ港なら々なりにおって此地ふあいつまり居るふ
商人の諸國人ことのまで政府へ書簡をさうつてイスパニア人全体
を話せしまより其年の扱をたりし其此條岩を丘綱と右治や
きしたるなりなり

是迄此新刊に世界字彙の書籍広告に記載一二部の書
整雅に在て続々出るもの一ト度出るハ以後出版せざるものなり

引札之部

某種類を求むと要せハ請求者ハ
運上所の掲示第二十七番の間ニ於て
居り於合の書類を以て返事
弁望よりの返答を待つべし　アレン謹白

病の治療を受むと請ふ
人々ハ毎日九ツ半時より七時
まで第百八番に来て診察を請べし
バダール謹白

当港の我ハローラス絵横浜ニてハウーラスホール組　我社ハアメリカ国
の商人ニて日本開港以来ニ店をつなぎて日本の物も買入れ
又船乗の為に売り且し帆船蒸気船を作り蒸気の器械
及び軍用の諸器と日用の器物をも取扱ふ諸品多く来り
所々遠方より買入又ハ外国より取寄て商売すれは我社の名二新ハ
日本政府及び大名の方々へ江戸大坂の町人まで知る店ハ住宅
も海岸第二番なり
ホール謹白

第十一号

M. Des Roncy coy.

入港之砌人を雇ふる事あらハ文書を下す所持之もの見られて雇ふへ
何時成りとも之ハ是非とも骨董象牙蠟石又ハ陶器類なと求めんとするとき
らるへし 港之店 持参 [illegible] 又ハ宝石の類を呉れハ [illegible]
三十一番
レスノー 謹白

アメリカの商人オールマンブラウン社ハ南北亜米利加第一所を始し居留地
蒸気船帆前船海陸とも大小砲玉薬類并ニ諸品をも売込ミ [illegible]
ライキレーもも 右所持申候 居留地ニ [illegible] 一事なとも御用之方ハ
何れ之品ニても御座候ニ付 [illegible] 御用之御方 [illegible]
[illegible] 又ハ [illegible]
[illegible]
六十七番 オールマンブラウ

英國飛脚船入港ありて此新聞を得タリ

慶應三年六月廿二日西洋八月二十日

イキリス國の新聞

西洋六月十一日の新聞
日本四月廿八日

評定所よりおいおい時務宰相に附属の若年寄今支那より来り居
使節は英國の政府に向ひ来者故に政府よりも亨子キ取扱には不及ゆゑ
られとも隠分町宰了にて取扱事と申出したり○英國イカノメイスト
いへる新聞誌に曰く此節金銀不融通なるは前ニミ遣ひ物毎余利より無
利に移り　各々の才幹不相應の大なる売買取引致すによりてなるべき
の損失をなす或は戸を閉又は分散致す者多し○或新聞に曰くセントリアナ
といふ湊にて白色の蟻生出して諸木を喰ひ終には家屋を喰ひ尽して諸人
大に迷惑に及び種々に工風しても防きかぬるといふ或人曰く西オーステリヤ湊ニ八
古しく白蟻有て諸人試に金銭の類入れて箱を拵へ諸木材と白蟻とを込置
二三月を経て開き見しに其櫃の類まてマハコチトいふ木材を残りてその
外の木は悉く喰尽し白蟻も皆々死したりしといふ○佛蘭西の
或新聞誌に此度オーストリヤ」ブロイ」二國の争論につきては魯羅
巴の地球圖大に変格すへしといふ書状は千八百二十八年佛蘭西國小

於て思ひ付近國へ相談のうへ圖改革にて成さるに有りし終に不行届
其後新老中改革の事を書して「イキリス」「オーストリヤ」「オロシヤ」「プロイス」和蘭等へ申送し趣意ハ佛郎西にて千八百八十九年迄領せし國ニハ元の如く沸郎西領に取戻し「プロイス」ハ和蘭を取り支ふ屬したる諸侯を英領とさふし和蘭王ハ「グリース」國大王ニ成りヲクリースまて「トルコ」ダスヒヤン」ミいふ國を治め都を「カンジタンテー」のホールといふ所ニ設し分境を立しくすへしとすれ然るに蘭王此事を拒ミ「ロシヤ」國に相談して承伏せさる故に此企又ハ不行届に有しなり此度の動乱ニ再ひ此事始り國境領分ホの變革有へし○商賣の事ハ景氣に有しが此節サク景氣直りしかとも債金ニ爲利をむる事ハ元の如くニて一割之○大兩替屋二軒潰も其外大商人の潰れかくありしも多くこれあり○茶ハ諸品少く直段てる直なり生系ハ入用減し賣買も又少く諸格系凡三十ヶ三十三シリングなり

フランスの部

パレース都府へ諸國より使節會合して「オーステリヤ」國ミ「プロイス」國との争論を鎮めんと欲したるニ「オーステリヤ」國王の曰く此度の會合に領分の穢さしホの評義られハ會合に出てさるよしれ斷ホって會合の沙汰止ミしと○「プロイス」○「イタリヤ」のお國より地を割ニさて沸郎西へ附与したる風説あるより役人より解しとかや

プロイス國の部

此國の政府にあひて専ら陸軍を催し戰争の用意を為此國の人民ローマ派を信する者ハ「オーステリヤ」國と同宗なる故ニ争戰を嫌者多しと云

オロシヤの部

此國より「プロイス」ミ「ホーランド」の境へ大軍を出し見張をなすといふ

イタリヤ國の部

此國ハ戰争の用意盛にて軍勢を倍増せさるなり○鐵張の軍艦數そふ「プロイス」國へ來りて「イタリヤ」の軍艦と共ニ進ミ「オーストリヤ」に戦

戦ハむとする勢ひなし

イスパニヤ國の談

此国乃軍勢ハ万五千人ニ至りしといふ事なし○此国の軍艦南アメリカ乃キヤリカオ」といふ国へ折アモリしに本國より命令ありて退陣せしとなし

北アメリカの談

南部の惣大将敗軍の後ハ牢獄ニ居たるに病に罹り其所大頭梁の仁慈に由て廣き墓場ニて身體の運動保養なれるやうになりし○前のアラバマ船の将此度モーピール」といふ所ニて濁後に撰ばるゝ處政府に對し罪ある者ゆへに大頭領より免許無之内は入れざりし事ハ無用なるへき旨申渡けるとなり○此度英國のミニステルより北アメリカの事務寄相ハ英國政府より申出口上の趣ありて厚く禮を述しとなり其故ハ英國ハ元来三ヶ国に合せたる國にて一を英國二をスカツレンド三をアヒレンド」といふアヒレンド」ハ獨立の端なり



志て英國の威をもつて無理に合せられしゆへに今においても人民帰伏せず動もすれば獨立せんと欲し此頃の人民北アメリカに来り住んで内々戦争の用意を為せし風聞ありし英國のミニステルの願ひ出によりアメリカにて其の事務寄相是を制し止めくれる様頼みしとなり○テレカラフ」にて申来る處追々達する便りの如し英の八月廿日乃新聞の説によれば英國乃老中退役の訳書を出して承諾退役になりしとなり是ハ英國の例にて老中評定所にて評議に負けし時ハ何つれも退役せる事なり同月廿七日スタスヒトといふ人事務寄相を女帝より許し命ぜられ○同月十八日プロイスとイタリヤ両國合議して「オーステリヤ」と合戦及ぶ戦事に決定為したること○フランテホールトといふ處においてオーストリヤとプロイスと及戦争フロイス勝利を得たる由○同月廿五日ヘルナとといふ所に於て大合戦を為しイタリヤ」敗軍して軍勢を失ひ退散せりフロイスハボヘミヤ國へ攻入りし趣なり同月廿九日イタリヤハホーといふ所に陣を為したる其所を持ちこらへて退散せしはノオホラ」とフロイスス」と合戦し又フロイス」とオーステリヤと戦有し風聞あれとも勝負未だ分明ならず

第十二號
海外新聞

慶應二年七月五日イキリス國の新聞紙にて左の新聞を得る

ジエルマニー國

西洋千八百六十六年第七月プロイス國ハハノーボルとセキセノーとヘセカセルとの三ケ國と戦に及て未だ敵にて大砲なども取りしとなり又其外れた小國も征伐なして兵をつかひてセキセノヲの軍勢フレーギユーと云處に引退きてハノーボルの國王も太子ともに軍勢を引つれコテンジンと云處にとりかかりてフロイスの軍勢にとりかこまれ居ると云ふ風聞なり○ハノーボル國の人民ハ國王の政府の金を持出すを留めさせたり○オースタリア國とフロイス國とポヒヤと云國境にて對陣し居たり近き内にナシヤ川をへだつて戦あらんと云模

乱あり

オーストリア国

去年より大艦を以て当時の乱のをさめんとせしも
何れも未だ降伏なりしより〇フロリスタント宗の僧共ら
出面を以て礼を述しは寛なる法なりしところを寛し
難ありしと

オランダ国

此国にてハチエルマ子ーのそうどう未だをさまらざれバなほ
ましとて世話をなせしが今ハ未だ及ばずして接戦
まなりしとて始て安心なせしとうや〇此にコロリ
の急病大に流行りなし諸方にて始め其数凡四千人程之



イタリヤ国

今月十八日国王ベキトーイマニユーリルより大艦を以てオー
スタリアと戦はんと船をあせし同廿八ニシニシヨーと云
ふ川を越へビロナと云地にて大合戦ありしとぞ

イスパニア国

此国のマドレーとジロナとを以て此志なる軍勢
の内にてもかれんをくるだてしるそちぬるを起して
出立る人多り入牢(ロウ)なさし

アメリカ国

大統領オンドルウツト以ひらハ南の大臣欽ハベール(金を賞歎)なし名称を
後うこ忘をうらを与へた其故ハ国家の大罷人なればなり〇

ヘニヤレと云ふ国より此国の内なるイキリスの領カナダと云ふ
ところに入てどんぶかなして境引出しきたり此内三人の
死したるものハ政府にてとりおさへたり

オロシヤ国

此国の国王ハ皇帝アシヤ国へ差し出し軍艦此比帰着
せし故艦取りて元気なし猶その調練なとてこねる
あるりしをめんきよなし士官の生徒を進めんと水夫など
雇人を与へるとなし

イキリス国

支那より舟越る使節ハ此度オランダ国へ行くなり○
グレートーイーストランドと云ふ大なる蒸気船当月より帆

アタランチ海にテレガラフのいとを張るなる如くなり○此度政総
エンピール（ガリバルヂ子息ニ来テヘル）ライフルの筒を持ちもて出勢に
なし居たり其仕方ハ最も危きなれば政府より二万
枚のあんしんあり○アメリカ国より軍艦三艘入港あり
其内一艘ハ鉄張二艘ハ木張りて其材木ハ厚さ凡七尺で
すりよして水上にあらはれしところハ只づかに其一目に
頭出したきハ恰も板の水上に浮み居るやうなる形なり
○ハノーボルの政府の金ハ皆イギリス国にあずかりて大ある物や
にありけるより○此国にゲールと云ふ人あり初て焔硝
のかたまりに近きても気なる燃ふざるを鉄砲（ハツメイ）なしし
りたれども其上にやわしらば識られずると計たと

り別試ミん為ニ果して効あり就し是ハ如しの試
みて十分ならバ粮又決ニおところんと以ひおしらバ粮又
政府より古き一の船を借し凡そ五十トン船積ハ二十トンの
コ二あしくる物と廿二挺のテせもいと荒き大き船して
此ハより出帆して岸をつけしニ遼(ソロダロ)ても一ヶ月ばかり
あるを如し由なかりき其鯨ニ内ニ右の二挺をつけ
きしらハ纜(ツキ)をなしてそれ尼情あり右の事頗ニ工
夫ありなる食料を蓄ふる場所をもとめけれバ大ニ弁
利あり　其物ころの菜ニうちまするせり賣ニ出る二万五
千箇うまし多ハ其郷ニあるの〇生糸　賣買ある〇絹も
其船ハ日本の糸ハうまし一斤ニ付天保一枚より一枚半ほど

アメリカ史畧　其のつゞき

其頃ニイスパニヤの国王と女王とニ又て願ひ出しかバ
初くハ承引の気なくして船三艘と乗組九十人食物
三年をさゝゆるだけをたまはりける此ハイスパニヤ
ニ戦ありて中なる金銭乏しかり(トモ)けるより女王の身ニ帯
るところの飾りものを質入なし其入用金の不足を
おぎなひけり〇右三艘の名ハサンタマリヤ　ヘントー
及ビニーノーと以ふ其三艘の内のサンタマリヤと以ふハコロン
ボスの乗りし船ニて其うち最も大なる一艘ん乗組
九十人の外ニ廿人ほどの出生粮してを好む人
同行なりし〇此時コロンボスの年五十余歳なり
毎年(フナノ)をなりし内四十年ほどして其内廿年

世界開闢のあらまし　前のつゞき

ヘーフルより人民諸方に分れメスレームといふエームスの子あ
りし人イーヂツプに旅行(タビデ)なし其国を負てより此国ハ
極古き国となして色々の物あまた多し　○此人初く
権柄(ケンペイ)是ハ人の位を備を作り教師ハ同事をも兼学問あるを
用る人より最もやすくてなるに故る人の位ハ分く三
等(タン)に分れたり第一教師第二将軍第三ハ諸民也
其の第一と第二ハ合して諸民を伏し権を勝手に政府
となし後二百年をすぎ総大将メニースといふもの
出て其人を以て強大なり遂に天下同様に
あつかり此時に耶蘇(ヤソ)前凡二千四百年 之メニースヘロ



のみハ西の国を尽すべきを其工夫なし居たりしが
其のをとつめてコロンボスの心中を察しける出帆に時
を定て終ひらんと極右の三艘の舟出帆せし処
をイスパニヤ国のパロースといふ港より千四百九十二
年八月十三日の暁(アカツキ)出帆し千?の向ふ方へ行くハ
東南にてカナリヤの嶋に行き又西の方へ走り
西インデヤの島を見て四十日ばかりしかして漂泊
つゞくして御る難居せしぞ　後へつゞく

ワとけの名を換さイーヂツプを治むく王の通名となせり
或人の名セし居るヨメンピースと云所を作らしけ是ハイ
ーヂツプトの内にて一番古きとなる〈〉メニースの代ヨリ
猶以外国と戦ふことなくして一生を終りし其外にも
言を語る法を為て留守をなし是ちを建て又橋を作り
外人の往来をなし然或ハ川を通りて船にて荷物を
いきらぞを通りて国々に水をそゝぎ或ハ土手を築
て水を湛せざるをなし故に此人の名後世に迄も名高
く

後ニつゞく

慶應二寅年七月廿日イギリス国の飛脚船入港なせし
よりて左の新聞を抄す

イギリス国

先中あへくわらり香區役の先中各々區役新ひの
わあひしを試語せ所々両端でより○路月廿日の夜半
の一時（日本九ツ半時）よりロンドン市中ハ車軸（しゃじく）をながすに雨も
降るも又大雷にて雷落て破損なせし場所あり タリキヤスト
ルまてハ螺風（つむじかぜ）にて屋根なとくだされせし所々多し○或
人イギリス国とフランス国との間なる瀬戸の地下を掘りて
蒸氣車（じょうきしゃ）の鉄道を造らんと云えなるになさせて
に大なる費もかゝり年月も多くかゝるをなさいば或人

此外大なる蒸氣船にて蒸氣車の荷を積て居れハ
のせ替るに便利なりとそ

賣買の事

茶　去歳より七年六月迄十二ヶ月の積しめの斤数ハ九
千六百五十万斤なりし○糸　去歳の正月より十九シル
リング　高揚り正月廿九より廿シルリング迄○綿　此節より
競　直段なしまけりて天保銭半枚位上りたり

フランス国の部

此国のモ子トーと申す新聞紙にはオーストリヤ国より
ビニシヤと申すところを此国へ進物とありしと○此国ハ
オーストリヤに向て此度は戦のあつかひにつかはしと

此ひしきハ兼て着船せしものにつき先頃プロイス国とイ
タリヤ国とのつなぎて北方ハ掛合に及ひしとそ○アミアン
にてハ大にコロリ病はやり居たり

ジヨルマ子ー国の部

プロイス国にてハ針鉄砲にて十日の内にオーストリア国城
数ヶ所を打取りしオーストリアの方ミちミちやと此頃
四度合戦ありてオーストリア多く敗北なしたり
○ハノーボルの軍ぜんもプロイスの方へ降参なし今
のやうすにてハプロイスハジヨルマ子ー中にて總大将と
なりし日輪の如きものになれり

イタリア国

南の国の方ハ戦ニ利ありとハ及しが此度にてハ損傷なく
大将のギャリバルダーかし性命をなし諸軍艦ア
ンコナを以て来る将しつる由にて戦なし

オロシヤ国

コンストウを以て新聞二説に此国の太子デヌマーケ国の姫を
迎へ后となせしと

イスパニヤ国

将軍ナベズ内乱をしづめけがをなせし兵卒ハ将軍
二人打死なりしが賊を四百人あまり鉄砲にて
打殺しけり

アメリカ国



評定所にて積たくしの綿乃税をだいぶ紙にてもる
をする事定免多く 南の方ハ運上を皆々以て改正し 諸しく綿の毛を満たす事を
つゝましきとる事極めてくり 〇南部大統領なる
デビスの病気なれハ速て快しなけり

メキシコ国

国王の政府にハ金を大きに差つとめ来る様子なり 然る
ニユーヨーカの新聞にあらしる大統領の方ハ通して其事
なり替りしなりけり

イギリス国テレガラフの部

西洋一七月廿三日 六月十六日 のたよりにあらしるオーストリアとプ

ロイスと此頃ハアーメステース（暫時し乃戦を辛子加き免 撫合乃ふとを此云）をなし居たり
フドアレキと此ふ海ニ於てイタリアとオーストリアとの軍艦
大戦をなし オーストリアの方勝ちイタリアの鉄張
の軍艦ハ多くとしとのる 就き仕形をも五子なる
の勝利とのゝ此じ居たり○同月廿五日ニオーストリア
とイタリヤとのアーメステースの撫合ハ何れなるの百の積
りニ極まり○ジヨルマ子ー国ニコ子グラツと此ふ處なる
此處ニて本月三日ニ大戦じあり オーストリア大ニ敗
北せし由今十二日ブロヒと此ふ處ニプロイスの第一帯
手の大勢俸をしき居たり 第二帯手ハオロメツトと
ブロヒと云處の間ニ止し 第三帯手ハヒヤ十と云處

西許ニよりて此頃○オーストリア領のアデジーとメンシイ
ヨの間なるイバキユウと云地面を指て立のきし○ターロル
とツライスターと云処よりフランスの国王とイタリアの
国王へ告輸を此くや如しニイタリアとフランスと合
せて一ヶ国となさんと思しすめんを如く此内あり○オ
ーストリアニてヒヤノーと云地をプセイスへ掃を據やら
あり告哉ハ其の城下ニてハ不せざくも出来ぬ由なり此之
政府ハ此りニヒストーと云処ニ場所移るとの事○オ
ーストリアのアーチドークアラヘツトーと此ふ人務軍ニ命せ
しれより○二ろメリンフロウレンスの高銭政府ニて下
されより借りやられん（一メリンハ数百萬を云 フロウレンスハ通用金之）

アメリカ史のあらまし

抑此の蒸氣船を以て目出たくも多く勝りたる日数を一ヶ月にへらし
北亜中に人を捕らへ居りし蒸気の事を始めしハこのコロン
ボスと云ふ人なり 船乗となり居りしを放るまでには居を
此る国へ渡りて此島を發見し 發見して居
る内に西洋四月廿日始て進み居りて山を見出せ
星廿二日美しき青き島の浮べる方に来りて碇を卸し
たり○此島ハ其土人の呼るゴナハニと名づくると云ふ
ところのホヒーマースの内に一ッあり コロンボス此島を
名づけてセンサラドルと呼ぶ（其意味ハ救ひまふ所といふ事なり） 此島の長さ
凡十五里程にして人ハ十分に住居せり○コロンボス

あの晩に自分まで見ゆるし香取も自分弟一ヶ
上陸なりし先のまづき新き土地を尋ね神をね
して武蔵ひ神力にて助けなしと礎を立られか
くなせうちに見せて新中にて乱暴なせし者とも
なきも市ロニボスの方に来り手を合せてはじめり
○此國の人ハ赤裸にて色ハ銅のごとく髪の毛ハ黒
くして長く髪ゟなしふしかゝるの人物大勢
あつまり此の所に来りし人の前に立て
帷居船と不思議の形をなして見居たり最舟
を見て魂をつぶし大砲式時舟中にて大砲
を放をみて電雷又は鬼ひ大に驚き恐れたり
後につゞく

世界開闢のあらまし
あとにつゞく
ヘブロンのイーヂップ国に住ざる者九百年前に下の
イーヂップトを東の方より来る浪士に従へさせ者を
百ハ凡二百六十年位其後終に逐出されアジア國、
帰りたり○彼の地イーヂップトを治る者ハ上のイーヂ
ップト也ゆかりなく其国の人治め居たり○ホッ
ク者の浪人共居ゆかれ出して後四五年を経て
ジヨセフスという人大紀識をなり國政を司り
しかるにつき、ジヨセフスの敗うちハイーヂップトの
ゴシアンというところにて住居きりチューイス
の国の人イーヂップトに住居りし時よりしてグリ

十一

ース國の歴史の年をくりてとのるは先別九
千八百五十六年キリシタンの生れざる前なり
◎イーヂツフトの歴史をしらるゝ大なる國が出来
又ハ大なる所が出来たる時ハ其ニ出せしナヲと
云人より多くの人出来しん○其後ベーフルと云
ともがらの人々に法を教へやらるゝあるれし後ナヲ
の子孫シヤムと云人あり其子のアシオーと云人ベー
フルと云父の近邊に住居せり依て當時の人の
云るアセリアンと以て國ハ彼が廣めしなりと
又ハニニーバーを建しハ彼なりと其武人云る
子ムローと云人其のニニーバをふれしなりと

後につゞく

引札之部

薬種瓶を求むると欲する諸君子ハ
運上所の構内二十七番にて問給へ
差し請合あまき元価を以て請ハ直速
下売より夜よりも売るなり　アレン謹啓

病の治療を望むと請ふ
人々ハ毎日九ツ時より七時
まで東百八番をとひ給へ
バダール謹啓

長崎の港へハ ロークス 絵様後にてハ ウーラス ホール 我ハアメリカ國
の商人にて日本へ開港以来店をひらきて日本の品を買入れ
又舶来の品を賣る者なり 帆船并蒸気船其他蒸気の器械
及び軍用の諸器と日用の器物などを渡す諸君子ハ来り
給へ 年々速かなる事ハ外國より取寄せて差上げ 我國の者に新ハ
日本政府及び大名の官人江戸大坂の町人なども 居まする住宅
を備え館第二十番
ホール謹啓

1

# 海外新聞

第廿四號

入港を厳重に改むる方ハ此度下所持之諸書面を見えよりて其局にて作法あり之ハ旨ある 骨或ハ象牙蠟石なんと造りて流行せしめしかも見せしむるまへ 造る之品 精巧を競ひてむなどの善なる美あるべし 三十一番 レスノー謹誌

アメリカの商人オールマンブラウ氏ハ當地ニ居て第一流をなし居りし処象牙細工の船艦ニ附属したる大小砲玉等彩色を施こしてある殊に綺麗なる一ッのライキレーもしくハ所持せし處に價の高き物を飾りてのよけれバ利も亦ハ之物を造りて余の支配成す事にいたしめしにて其者そうして見た者ハ持念なし又日本の人に買ひとられはなるまじく候

六十七番 オールマンブラウ

慶應二寅年八月廿五日日本イキリス便船入港新聞書

ジュルマ子ヤの部

プロイスとオーストリヤとの仮条約六月十五日日本子コロスホルグーと云所にて盟約せりとぞ

フランスの部

國王此ころペケイと云所に居て老中集會論議有且おほく馬或ハ硝石など買入ることとぞ○国中の人皆二三月頃までハ戦争をきらひし所昨今ハ戦の起ることを却て人の心にかなふ招きになれり○或新聞紙に此政府の奸謀にてプロイスとオーストリアを互ひに

しばしかゝる挙にあらし且メキシコへ手色をそへ力を入る
ごとなどせしハ甚以て宜しからぬ事と書出せり
政府にて驚き此新聞急にさし止たり右なれど
しかして國中一同何となくおだやかならぬとも

プロイスの部

國王自ら評定所を開き（自ら往くハ重大のことなり）諸役人諸軍士を
あつめ今度オーストリアの戦争勝利を得るハ神の
助を蒙ること勿論なれども又各々の一致なして
力を尽せしによれバ褒賞せざれバ有るべからずとて厚く
謝せられしとぞ

オーストリアの部

此國の政府にてハプロイス國に償金を出すことにかゝりて
勘定奉行の補助のためとて筭達者四十人余を
人撰なりこの者どもを參集論議してけるにて
國中の内地取々プロイスにとられ居るところ有て
多分難渋なればさし當り用金ヤ付ることなる
まじとや出しならバ種々議論ありて終に両替屋
より借用なして辨金のすみに決定せりその仕方ハ利
分を出して銀札及びさまざまにイタリヤ國より取べ
き償金とを質物になせむるすみに定む勘定奉行始め
異論なく同意にて両替屋仲間にお請せし所に
ローテスチヤイルと云者一人にて百六十萬ドルラルを出銀

せむと云出たり其他冨商あれども是れほどの人なし

アメリカの部

上下の評定所まてテ子シー國を今般合衆國の部に入ることに決定して大頭領も兼知せられ是に印章を下されたり（このテ子シーハさきに内乱の時南アメリカに属せしが今準[illegible]せしし）

○将軍テキストと云人今般ヘーギユーと云地のミニストルに命ぜられたりグラントーと云人将軍になりシエルマン副将軍ハレケツト新に提督に命ぜられしなり

イギリスの部

此國七八年前よりアメリカ國まで海底に三千里ほどの所テレガラフ線仕掛て音信を通ハせんことを作り初しが此頃漸やく落成になりしによりて女王よりアメリカ國の大頭領まで賀詞を申おくるハ此テレガラフの線縄首尾よく成就して貴國まで達貫せしによりてハ此繋縄をもつて是迄よりいま程一段懇篤に交親らんことを冀望すと大頭領より答ひにハ永く兩國和親なり唯や鐵の如く實に堅固のなりにて西と東の二世界を繋留結盟せる上ハ千萬世の後までも厚交異論なかる應しとぞ○此テレガラフ日々によく成委しくなれり○一分時の間に三十四文字翌日にハ通ぜと日々絶ずと言を通し居れり○ロンドンにアメリカ國のアニユーカのハセトーと云新聞屋の支配人居住せし此方プロイス國王の自ラ評定所を開きし始末を此テレガラフにて申送りてヘロ

ドーの新聞に載たり其代洋銀四千枚とぞ○テルガラフの組
より直段を書出せりイギリスの方まて云國中いづれよりも
アメリカ國何處なりとも一言につき洋銀四枚○廿言より以下の
状ハ出す人と受取人の姓名月日を入ル百文字迄八十枚
夫よりつづき一言五ッ迄ハ四枚廿言より上につづく言なら
バ字數を棄て五ッぶりかち五字を一言として直段ヲ
定めたり



アメリカ歴史のあらまし　後

コロンボス先年まておもひの所ロッパをとく乗ん又再び西
に向て出帆あり四月十ちるにキウーバと小子大なる
島を見出せり是なるを小嶋コロンボス第一番
目の航海にて見出せる島々のなり○コロンボス
云時におもひしに言てキハインドの西の隅ふ
ふせまを猶に多くの船にて北西インドに浮ひ来り
○コロンボス月周に向て帰帆なせし第四百九
十三年一四月十四日なり○其の人除りき
すてハ船にあらい風にあい其中にもつぶハくろこも
船よおもむくを以よりのちるあらさまうて

雛形なりし此はコロンボスも心をこしうまふち
かしもさうらいも新國を見出しを吾も出帆
なりしをどもつまびらかなし猶につゑパーチ
メン（大鯨のくくなく形の像あり）このき海中へ投げ落しうりを
お國を慕ひ雛形ありをおふバ此物の國ハ限らず
だ代の國、あらうも海をそくき我がなし験て新
國を見出しを其の人の名のんをふあらてあり
新しき世界に記して七十日を過ぎイスパニヤ國に
海を存まふなりし○第二か目の航海にジユメカ
手がかの嶋を見出しし此時ハ年四十五年の
秋なり

後につく

## 西洋開闢記ならし

子ムロー此人の孫にあるオシアーといふ人に國をゆづりうけ其後三ハーを作りヘーブルといふ城をたて荒はてたる民戸を修理志て居らしめ自分の居所となしベベローンとぞ号ける此時ハ洪水後凡六百年キリシタンの前二千五百五十五年なり子ムロー死後ヘリユストと云神の如く敬せらる（ヘーブル城ベベローン城下の中に高くあらはれ見ごと成とぞ）或人の説にアサリヤとベベローンとハ同所なるべしと有又子ニユスは子ムローン子にてアサリヤとベベローンハ一ツ國にて始て開きたる人より續き来りしと云又一説にハ子ニユスと云人ハアサリヤ國の太子にてベベローン國を降参させて一ツの國となせしと云このとき子ムローも在世より凡四百余年の後のことなりしと云

つゞく

引札之部

英語私を承知之者ハ講方ハ
銀上所の紹介にて二十七番地問屋へ
参りし相合あるにて無之候事ハ承遠
御座候事よりて申上候 アレン謹白

病の治療を望む者ハ謹而
人々ハ毎朝九時より七時
まで第百八番まで参られ候

バダール謹白

英國の船ハローラス號横浜にてハワーラス號ボール號 我共ハアメリカ國
の商人にて日本へ開港以来ニ店をつかまつりて日本の品も買入き
又輸来の品々売り差上候 帆船並蒸気船并に蒸気の器械
及び軍用の諸器と日用の器物なと施し候品々者ハ来り
候へハ手遠あるにて又ハ外国より取寄せ申すへく候 我共の店ニ於ハ
日本政府及び大坂の町人にも売り居り住宅
ハ横浜第二番なり

ボール謹白

入港を願て我国に至る所は其意を了解し所持之親子書面を見られ候て [illegible]
任せ被下候之ハ我か国之 [illegible] 象牙 蝋石を進呈 [illegible]
しめらるゝ進呈之品 [illegible]

三十一歳
レスハー 謹書

アメリカの商人オールマンブラウ我ハ前記尾張へ来り [illegible]
亜米利加船舶 [illegible] 大砲玉薬 [illegible]
ライキレーもし [illegible] 所持 [illegible]
私 [illegible] 又 [illegible]
[illegible] 又 [illegible]
[illegible]

六十七歳 オールマンブラウ